

VE8662

4K60p HDMI H.265 over IP トランシーバー(PoE対応) ユーザーマニュアル

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルは、ATEN International Co., Ltd. が作成した英語版ユーザーマニュアルをもとに、ATEN ジャパン株式会社が機械翻訳をベースに作成したドキュメントです。

日本国内のお客様への便宜を図る目的で公開していますが、用語や表現は機械翻訳による、表記ゆれなどがございます。

本マニュアルには、グローバル共通となる英語版を翻訳したため、日本国内で取り扱いのない製品情報が含まれる場合があります。

製品の取り扱いや仕様などは日本国内の法規に抵触する内容を除き、基本的に英語版ユーザーマニュアルが準拠となります。正確性を要する場合は、本マニュアルは英語版を読む際の補助テキストとしてご利用ください。

なお、内容に不備や誤りなどがございましたら、お手数ですが ATENジャパン株式会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

適合性に関する宣言

連邦通信委員会(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

本製品は、FCC(連邦通信委員会)規則のパート15に準拠したデジタル装置クラスAの制限事項を満たして設計・検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供するためのものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

この機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意事項

本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告

この装置を居住地域で使用すると、電波干渉を引き起こす可能性があります。

提案

FCC&CE規格に準拠するには、ユニットにシールド付きツイストペア(STP)ケーブルを使用する必要があります。



HDMI商標に関する宣言

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。

ユーザー情報

オンライン登録

ご購入の製品は、弊社のオンラインサポートセンターに登録をお願いいたします。

インターナショナル	http://eservice.aten.com
-----------	---

電話によるサポート

電話でのお問い合わせは、次の番号までご連絡ください。

インターナショナル	886-2-8692-6959
中国	86-400-810-0-810
日本	81-3-5615-5811
韓国	82-2-467-6789
北米	1-888-999-ATEN ext 4988
	1-949-428-1111

ユーザーの皆様へ

製造元は、このマニュアルに記載されているすべての情報・ドキュメント・仕様を、事前の通知なしに変更する場合があります。製造業者は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムに欠陥があることが判明した場合、購入者（メーカー、代理店、または販売店を除く）が、必要なすべてのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担します。

このシステムの製造元は、この装置に対して許可されていない変更に起因する無線やTVへの干渉には責任を負いません。このような干渉の訂正は、ユーザーの責任です。

動作前に正しい電圧設定を選択していない場合、製造元はこのシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいか確認してください。

製品情報

すべてのATEN製品について、また、制限なく接続できる方法については、弊社ウェブサイトアクセスするか、またはATEN販売代理店にお問い合わせください。所在地と電話番号の一覧については、弊社ウェブサイトアクセスして、ご確認ください。

インターナショナル	http://www.aten.com
北米	http://www.aten-usa.com

同梱品

同梱品にすべてのアイテムが存在し、動作可能な状態であるか確認してください。
問題が発生した場合は、購入元にお問い合わせください。

VE8662

- ◆ VE8662本体 × 1
- ◆ RS-232ターミナルブロック × 1
- ◆ フットパッド(4pcs) × 1
- ◆ 電源アダプター&電源ケーブル × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

目次

適合性に関する宣言	i
ユーザー情報.....	ii
オンライン登録.....	ii
電話によるサポート.....	ii
ユーザーの皆様へ.....	iii
製品情報	iii
同梱品.....	iv
VE8662.....	iv
目次	v
本マニュアルについて.....	x
マニュアル表記について.....	xi
第1章 操作を始める前に	1
概要	1
特長	2
低遅延の高度なH.265圧縮.....	2
高いスケーラビリティと柔軟性.....	2
ATENコントロールシステムとの連携	3
簡単なIP設定	3
ウェブGUIによる簡単な映像管理（追加ソフト・PC不要）	3
ビデオウォール対応.....	3

自発的なスケジュール管理	3
オーディオの埋め込み・分離に対応	4
多彩な操作インターフェースに対応	4
高度なセキュリティ保護	4
 セットアップ概要	 5
 対応ブラウザー	 6
第2章 ハードウェアのセットアップ	7
 製品各部名称	 7
VE8662 フロントパネル	7
VE8662 リアパネル	8
VE8662 トップパネル	9
 VE8662の取り付け	 10
壁への取り付け	10
ラックへのマウント	10
 VE8662の接続	 11
第3章 パネル操作	14
 概要	 14
 基本操作	 15
ロック画面	15
メニュー画面のロック/ロック解除	17
バックライト	17
 メインメニュー	 18
VE8662を送信機に設定している場合	18

VE8662を受信機に設定している場合	20
デバイスIDの設定	21
システム	22
情報	23
デフォルトへのリセット	24
再起動	25
VE8662受信機に入力ビデオソースを割り当てるには	26
第4章 ブラウザーのウェブ操作	28
概要	28
対応ブラウザー	28
操作を始めるには	29
デバイスのIPアドレスの確認	29
ログイン	31
メイン画面	35
デバイス	37
デバイスの追加	38
デバイスリスト	40
送信機タブ	42
クイック設定メニュー	43
アクションメニュー	46
重要な通知	47
ルームの管理	48
ルームの新規作成	49
ルームの設定	52

ツールバー	55
背景設定	62
受信機/ビデオウォール/ワークステーションの管理	64
ソースパネルのコントロール	71
 プロファイルの管理	75
プロファイルの作成	75
プロファイルの編集・削除	77
プロファイルスケジュールの設定	78
 マトリックス	81
オーディオ	81
CLIバイパス	82
 スケジュール	84
タスクスケジュールの作成	85
タスクスケジュールの管理	87
 ユーザー	89
ユーザーロールの種類	89
ユーザーアカウントの管理	90
ユーザーアカウントリスト	92
 メンテナンス	93
全般設定	93
ファームウェアアップグレード	95
バックアップと復元	96
 第5章 ワークステーションのメニュー画面操作	97
 概要	97
 前提条件	97

ログイン	99
メニュー画面コントロールの操作パネル.....	99
ワークステーションの受信機バー.....	101
 ソース	 102
ソースパネル.....	102
ソースの切り替え.....	104
 プル(ソースの取得)	 105
 プッシュ(ソースの送信)	 107
ソースのプッシュ手順.....	107
プッシュ通知.....	108
 プロファイル	 110
プロファイルタブ.....	111
ワークステーションタブ.....	112
 付録	 113
 安全にお使いいただくために	 113
全般.....	113
ラックへのマウント.....	115
 技術サポート	 116
インターナショナル.....	116
北米.....	116
 仕様	 117
 ATEN保証ポリシー	 120

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、VE8662本体を最大限に活用するために提供されたドキュメントで、製品の取り付け・セットアップ・操作の方法について解説します。マニュアルの構成は下記のとおりです。

第1章 操作を始める前に: VE8662本体の機能と目的を紹介します。

第2章 ハードウェアのセットアップ: VE8662の各部名称を紹介します。また、ハードウェアのセットアップ作業を、順を追って説明します。

第3章 パネル操作: 本体のLEDインジケーター情報とボタン機能を説明します。

第4章 ブラウザーのウェブ操作: ブラウザ操作画面である「VEマネジャー」のメイン画面の概要と、ディスプレイレイアウトの作成・編集の手順を説明します。

第5章 ワークステーションのメニュー画面操作: レシーバーのKVM機能である、ローカルワークステーションの操作を詳しく説明します。

付録: 製品の安全指示、技術サポートの詳細、および製品仕様が記載されています。

注意:

- ◆ 製品本体や接続機器を破損しないよう必ず、本マニュアルの内容に従ってセットアップや操作を行ってください。
 - ◆ マニュアルのリリース以降、製品の機能や特長が追加・改良・削除されることで、内容がアップデートされる場合があります。最新のマニュアルについては、<http://www.aten.com/global/en>をご覧ください。
-

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作してください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順ではありません。

> 矢印は操作の手順を示します。例えば、「スタート」>「実行」は「スタート」メニューを開き、「実行」を選択する操作です。



重要な情報です。

第1章

操作を始める前に

概要

ATEN 4K60p HDMI H.265 over IP トランシーバー (PoE対応) VE8662は、送信機と受信機を1台の機器に統合した製品です。動作モードを切り替えて複雑なAVソリューションでも機器を柔軟に構築し、簡単に設定できます。

VE8662は、3840×2160 @ 60Hz (4:4:4) の HDMI ビデオ/オーディオ、ステレオオーディオ、USB 2.0、および RS-232の各信号を、1本のLANケーブルで受信機と直結すると最大100m先の場所まで伝送できます。また、エラー訂正機能が組み込まれているため、遅延が少なく、帯域幅の使用量が削減されるのが特長です。イーネット通信に対応し、マルチキャストパケット通信を使用するため、要件を満たすネットワークスイッチを使用することで、様々な規模のシステムを構築できます。また、エンベデッドおよびデエンベデッドオーディオもサポートしており、オーディオをHDMI信号に埋め込んだり、アナログ音声へ抽出できます。

VE8662は、ビデオウォール機能があり、マトリックス切替機能にも対応しています。このトランシーバーは、瞬時にコンテンツを共有できる「プッシュ」と「プル」機能、レシーバーにはマウスを繋げた時、簡単に操作PCを移る「マルチスクリーンコントロール」機能や、簡単に各機器の設定メニュー画面機能などを備え、ワークステーションとビデオウォール間のシームレスな連携を実現します。

VE8662はACアダプターと(PoE)給電の同時利用による冗長電源に対応しています。このトランシーバーには、プッシュボタン、ウェブGUI、RS-232、Telnet/Reslinkなど、複数の操作・制御方法があります。

無限の拡張性と柔軟性を備えたVE8662は、建物間での信号送信が求められ、なおかつ、ネットワーク経由で複数の映像を管理する必要がある環境に最適です。具体的には、セキュリティ監視室、アミューズメント施設、文教施設など、さまざまな用途でも活用が期待できます。

特長

低遅延の高度なH.265圧縮

- ◆ 低遅延と最大でも100Mbpsのデータ転送量となるH.265圧縮を使用して4K60p HDMI信号をイーサネット通信で延長
- ◆ 最大3840 × 2160 @ 60Hz (4:4:4)の高画質映像を視覚的損失なしで出力
- ◆ EDIDエキスパート™ - 最適なEDIDを自動選択し、スムーズな起動・安定した表示・最適な解像度を実現
- ◆ HDR10およびHDCP 1.3 / 1.4 / 2.2 / 2.3準拠でコンテンツを保護
- ◆ HDMI (PCM 2ch) およびステレオオーディオに対応し、HDMI映像・音声、ステレオ音声、USB 2.0、RS-232を同時に伝送
- ◆ PoEとACアダプターによる同時給電に対応- 両方が接続されている場合は冗長電源として利用可能

高いスケーラビリティと柔軟性

- ◆ LANケーブル直結の1対1接続から、要件を満たすネットワークスイッチを使った多対多の機器構成までの構成に対応
- ◆ エクステンダー、分配器、ビデオウォール、マトリックススイッチャーなど、さまざまな用途で利用可能
- ◆ 8KV/15KV ESD保護機能搭載
- ◆ ラックマウント対応

ATENコントロールシステムとの連携

- ◆ 統合ソリューション - Telnet (CLI) または RS-232 で ATEN コントロールシステムなどから外部制御に対応
- ◆ ATEN コントロールシステムとの組み合わせならタッチパネルやキーパッドから VE8662 だけではなく、テレビ、プロジェクターなどの機器を統合的に簡単操作可能

簡単なIP設定

- ◆ IT の知識や経験がなくても簡単にセットアップできる IP 設定不要の構成
 - 本体ボタン操作で ID 番号を割り当てて、複雑な IP 設定をしなくても利用可能
 - DIP スイッチにより、Tx (送信機) / Rx (受信機) を簡単切替。スイッチの設定は、本体液晶画面で簡単に識別可能
 - 受信機のボタン操作で簡単にソース機器接続の切り替え可能

ウェブGUIによる簡単な映像管理(追加ソフト・PC不要)

- ◆ ドラッグ & ドロップ 操作で、映像ソースの切り替えやプレビューが可能
- ◆ 壁紙機能を利用してさらに直感的なブラウザ操作が可能
- ◆ 高速映像ソース切り替えにより、安定した映像伝送とリアルタイム性を実現
- ◆ ユーザー権限の設定でセキュリティ性の高い運用が可能

ビデオウォール対応

- ◆ 実際に表示されている内容をブラウザ再現する「見たまま表示」機能搭載
- ◆ 縦配置のディスプレイに回転表示 (90 度または 270 度) 対応
- ◆ 「プッシュ」& 「プル」 - ワンクリック切り替えにて複数人で映像共有可能

自発的なスケジュール管理

- ◆ 分単位でイベント制御ができるスケジューリング機能
- ◆ VE8662 を受信機またはビデオウォール単位でグループ化し、編集・再生管

理が可能

- ◆ 複数のプロフィールを任意の順序で時間指定再生可能

オーディオの埋め込み・分離に対応

- ◆ 外部音声信号をHDMIストリームに埋め込み可能
- ◆ HDMIから分離した音声を個別にアナログ出力が可能
- ◆ オーディオマトリックスをサポート – 選択した送信機から選択した受信機にオーディオをルーティング、柔軟なシステム構築を実現

多彩な操作インターフェースに対応

- ◆ LCDスクリーンと物理ボタンにより、入力切替、IDやIPの確認、ステータスの監視が可能
- ◆ 専用ソフトウェア不要、ブラウザからアクセスで設定可能
- ◆ キーボード、マウス、タッチパネルなどのデバイスを接続できるUSB 2.0ポート搭載
- ◆ 双方向RS-232ポートにより、タッチパネルや業務用AV機器などの装置に接続可能
- ◆ Telnet / CLI / SSH対応 – ブラウザ以外でVE8662の設定や切り替え操作が可能
- ◆ リモートKVM制御 – レシーバーにキーボードを接続すると、KVM機能が利用できます。[Ctrl]キーを2回押下して、メニュー画面の呼び出して様々な操作が可能

高度なセキュリティ保護

- ◆ ダイナミックUDPメディアマルチキャストポートをサポート
- ◆ SRTP (Secure Real-time Transport Protocol) のAVストリーミングを、AES-128ビット暗号化により保護 (次期アップデートにて実装予定)
- ◆ HTTPSによるセキュア通信
- ◆ WSSをサポート – リアルタイムデータ通信を暗号化

セットアップ概要

VE8662を使用するには、以下の手順に従って設定を行ってください。

1. ネットワーク構成を確定します。詳細については、ATEN HDMI over IPビデオエクステンダーのシステム実装ガイドを参照してください。本製品はマルチキャストパケット通信を使用するため、各ネットワークスイッチの設定が適切ではない場合は、ネットワークスイッチを増設しただけでは動作しないだけではなく、システム全体が停止するおそれがあります。
2. VE8662本体を壁またはラックに取り付けます。詳細については、p.10「VE8662の取り付け」を参照してください。
3. VE8662をソース機器、ディスプレイ、ネットワークスイッチなどに接続します。詳細については、p.11「VE8662の接続」における設置図を参照してください。
4. 次のいずれかの方法で送信機と受信機の組み合わせます。

注意:

初期設定のままVE8662をLANケーブルで直結し利用する場合は、ソース入力
が自動的に割り当てられるため、以下の手順をスキップしてください。

- ◆ 送受信機のもの各液晶画面とボタンを使用して各デバイスごとにID番号(送信機番号または受信機番号)を割り当てます。番号を割り当てたら、各受信機ごとに接続先の送信機のID番号を指定します。詳細については、p.26「VE8662受信機に入力ビデオソースを割り当てるには」を参照してください。
- ◆ ブラウザを使用して入力ソースを割り当てます。
詳細については、p.67「ソースの割り当て」を参照してください。

対応ブラウザ

対応するウェブブラウザとそのバージョンについては、以下の表を参照してください。

ウェブブラウザ	対応バージョン
Google Chrome	109以降
Mozilla Firefox	131以降
Microsoft Edge	128以降
Opera	113以降
Safari	18.1以降

第2章 ハードウェアのセットアップ

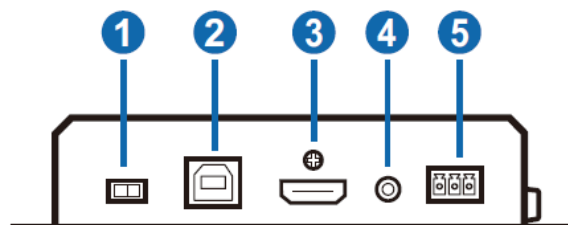


本体を構築する前に、次の注意事項をご確認ください。

1. 設置に関する安全上の注意をp.113で確認してください。
2. 各ケーブルの接続が終わるまで、VE8662の電源を入れないでください。

製品各部名称

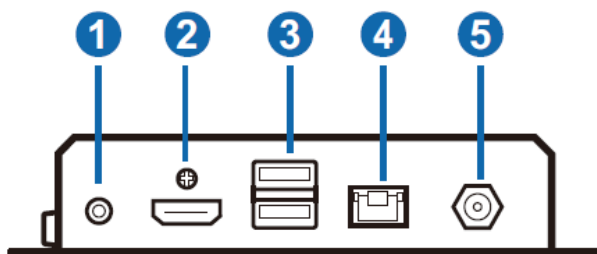
VE8662 フロントパネル



番号	名称	機能
1	Tx/Rxスイッチ	スイッチの位置を変えて、本体を送信機または受信機として動作するよう設定します。 起動中に変更した後は、設定を有効にするためにVE8662を手動で再起動してください。再起動すると、動作モードを変更して起動します。
2	USB Type-Bポート	ソース機器(例:PC / Mac)に接続します。

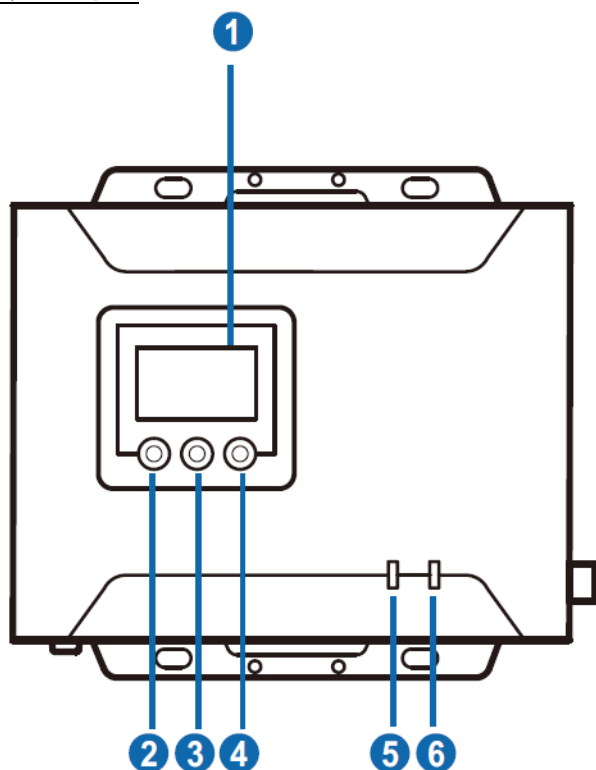
番号	名称	機能
3	HDMI入力	HDMIケーブルを使用してソース機器に接続します。
4	オーディオ入力	オーディオソース機器に接続します。
5	RS-232シリアルポート	RS-232を使用する機器に接続します。

VE8662 リアパネル



番号	名称	機能
1	オーディオ出力	オーディオ出力機器に接続します。
2	HDMI出力	HDMIケーブルでディスプレイに接続します。
3	USB Type-Aポート	キーボードやマウスなどのUSB周辺機器に接続します。
4	PoE対応LANポート	LANケーブルでVE8662をイーサネットスイッチに接続します。 PoE給電とDC電源入力両方が有効の場合、VE8662は冗長電源モードとして動作します。この状態では、DC入力とPoEのLEDが両方点灯し、冗長電源で動作していることを示します。詳細は、次のページのPoE電源LEDとDC入力電源LEDの説明を参照してください。
5	電源ジャック	同梱の電源アダプター用の接続ジャックです。

VE8662 トップパネル

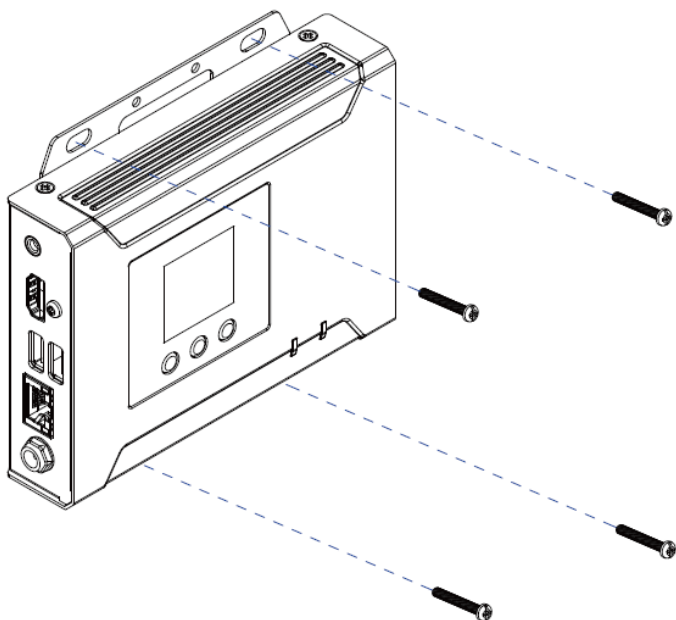


番号	名称	機能
1	LCDディスプレイ	本体の運用または設定中の情報(ID、IPアドレス、ファームウェアバージョンなど)を表示します。
2	∧ボタン(前へ)	VE8662にIDを割り当てや、VE8662送信機の入力ソースをVE8662受信機に割り当てるのに使用します。
3	∨ボタン(次へ)	
4	ENTERボタン	操作決定ボタンとして使用します。
5	PoE電源LED	PoEで給電されていると、緑色に点灯します。
6	DC入力電源LED	DC電源から受電していると、緑色に点灯します。

VE8662の取り付け

壁への取り付け

製品パッケージに同梱されたブラケットを使用して、VE8662デバイスを壁に固定するか、壁から吊り下げてください。

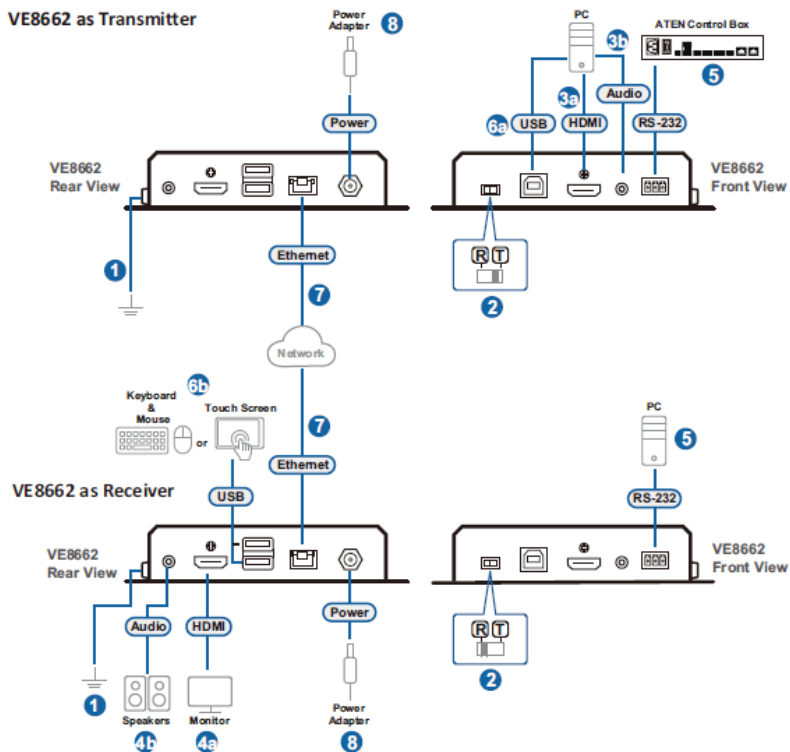


ラックへのマウント

VE8662をラック内の空間を効率よくマウントするには、ラックマウントキット「VE-RMK1U」を使用してください。このアクセサリーの詳細は、www.aten.com/products でご確認ください。

VE8662の接続

VE8662デバイスを、必要に応じて以下の手順でセットアップしてください。



注意: 上図の例では2台のVE8662を使用しています。

注意:

製品本体に接続している機器はすべてコンセントから外して電源がオフになっていることを確認してください。

1. アース線の一方向の端をVE8662グラウンドターミナルに接続し、もう一方の端を適切な接地物に接続して、接地します。
2. Tx/Rxスイッチを変更して、送受信機のどちらかに設定します。

3. VE8662を送信機として使用する場合は、次の作業を行います。
 - a) ビデオソース機器とHDMIケーブルで接続します。
 - b) ソース機器のアナログLINE出力と、適切なオーディオケーブルでVE8662のオーディオ入力ポートに接続します。
4. VE8662を受信機として使用する場合は、次の作業を行います。
 - a) ディスプレイとHDMIケーブルで接続します。
 - b) ミキサーなどのオーディオ機器と、適切なオーディオケーブルでVE8662のオーディオ出力ポートに接続します。
5. (オプション)シリアル通信を使用する場合は、送信機と受信機のRS-232ポートに通信をさせたい機器を接続します。
6. (オプション)PCを受信機からキーボードマウスで操作する場合は、次の作業を行います。
 - a) PCを送信機と設定したVE8662のUSB Type-Bポートに接続します。
 - b) キーボードやマウスなどのUSB機器を、受信機側のVE8662にあるUSB Type-Aポートに接続します。
7. VE8662で次の設定を行います。

◆ **LANケーブルで直結時の設定**

イーサネットケーブルの一方の端を送信機のLANポートに、もう一方の端を受信機のLANポートに接続します。

注意:LANケーブル直結の場合、PoE給電はできません。

◆ **複数台のマトリックス接続時の設定**

送受信機のLANポートを、設定済のイーサネットスイッチに接続し、同じネットワークセグメントに配備されていることを確認します。

注意:VE8662は、PoE対応のイーサネットスイッチに接続すると、イーサネットケーブル経由でPoE給電で起動します。PoEで給電OnにしたLANケーブルは活線と同じです。そのままの放置をすると火災や事故、接続する機器を破損させる原因となります。PoE機能を使用する場合はLANケーブルをすべて接続してからネットワークスイッチの電源をONにするか、PoE機能を有効にしてください。

8. 他のすべての接続機器の電源を入れたら、VE8662付属の電源アダプターをコンセントに挿して電源を入れます。

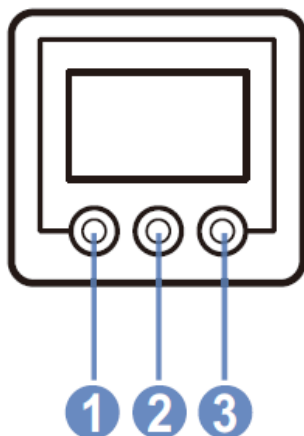
注意:

冗長電源を有効にするには、VE8662送信機と受信機の両方をPoE電源で動作させ、製品本体に外部電源用の電源アダプターを接続してください。給電する電源の順番指定はございません。

第3章 パネル操作

概要

VE8662の表示部には、本体の設定を確認できるLCD液晶と3つのボタンがあります。ボタンの機能は下表のとおりです。



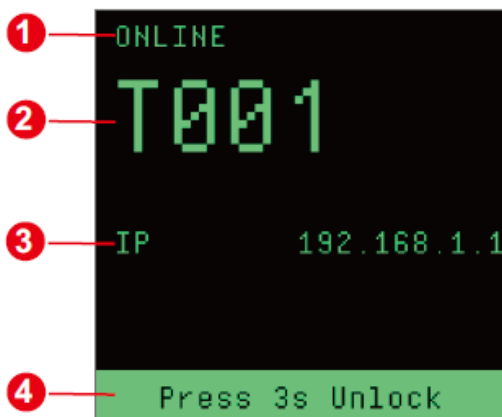
番号	ボタン	説明
1	∧ (前へ)	ボタンを1回押すと上または前の項目を選択します。また、押し続けるとオプションを上スクロールします。
2	∨ (次へ)	ボタンを1回押すと下または次の項目を選択します。また、押し続けるとオプションを下スクロールします。
3	ENTER	このボタンは、選択を決定する際に使用します。

基本操作

ロック画面

VE8662を送信機に設定している場合

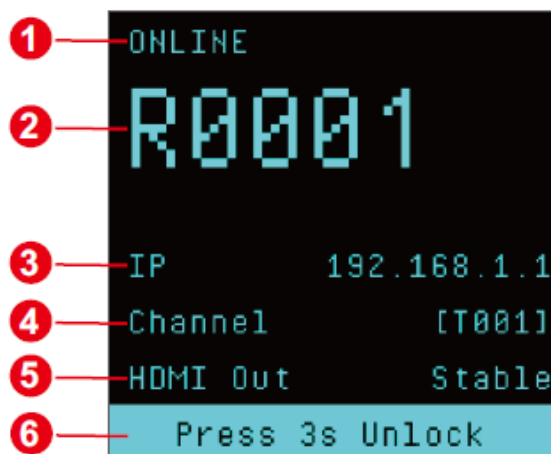
送信機モードの時は緑色のバックライトで表示され、次の情報が表示します。



番号	項目	説明
1	ネットワーク接続	この機器のネットワーク接続状態を表示します。 - オンライン: 機器は現在ネットワークに接続されています。 - オフライン: 機器はネットワークから切断されています。
2	デバイスID	この機器のデバイスIDを表示します。
3	デバイスIPアドレス	この機器のIPアドレスを表示します。
4	スクリーンロック表示	機器のメニュー画面が現在ロックされていることを示します。画面のロックを解除するには、任意のボタンを3秒間長押ししてください。

VE8662を受信機に設定している場合

受信機モードの時はブルーのバックライトで表示され、次の情報が表示します。



番号	項目	説明
1	ネットワーク接続	この機器のネットワーク接続状態を表示します。 - オンライン: 機器は現在ネットワークに接続されています。 - オフライン: 機器はネットワークから切断されています。
2	デバイスID	この機器のデバイスIDを表示します。
3	デバイスIPアドレス	この機器のIPアドレスを表示します。
4	チャンネル	接続している送信機を表示します。「N/A」と表示された場合は、送信機がネットワーク上に存在していません。
5	HDMI出力	HDMI出力の状態を表示します。 - Stable (安定) - Unstable (不安定) - Unplugged (未接続)

番号	項目	説明
6	スクリーンロック表示	◆ Press 3s Unlock(3秒間押ししてロック解除): 機器のメニュー画面がロックされていることを示します。画面のロックを解除するには、任意のボタンを3秒間長押ししてください。 ◆ Workstation lock(ワークステーションのロック): 受信機がブラウザ側の設定でワークステーションとして設定されているため、本体ボタン操作によるロック解除や設定変更はできません。

メニュー画面のロック/ロック解除

VE8662のLCDディスプレイがロックされていると、スクリーンロック画面には「Press 3s Unlock」(3秒間押ししてロック解除)と表示します。画面表示を解除するには、任意のボタンを3秒間押し続けてください。

注意:

ブラウザでの設定では、指定した無操作時間になると自動的にロックする秒数設定の項目があります。

メニュー画面を手動でロックするには、任意のボタンを3秒間押ししてください(選択中の画面は問いません)。

バックライト

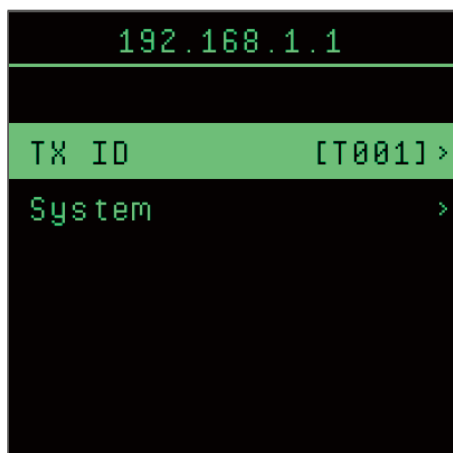
VE8662のLCDバックライトは、画面がロックされてから10秒後に消灯します。バックライトは、次の操作で再び点灯できます。

- ◆ 任意のボタンを3秒間押しして画面のロックを解除します。
- ◆ 任意のボタンを1回押します。10秒以内に操作がない場合、画面のバックライトは再び消灯します。

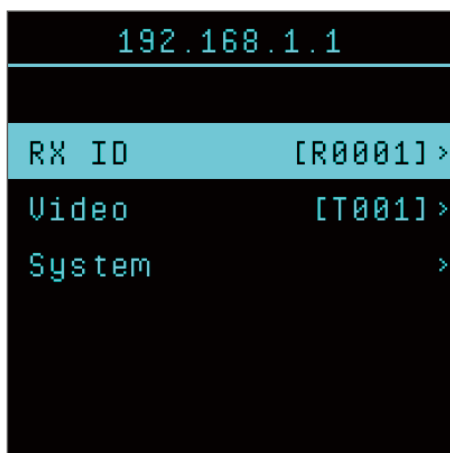
メインメニュー

ロックが解除されると、メインメニューが表示します。

VE8662を送信機にした場合の画面

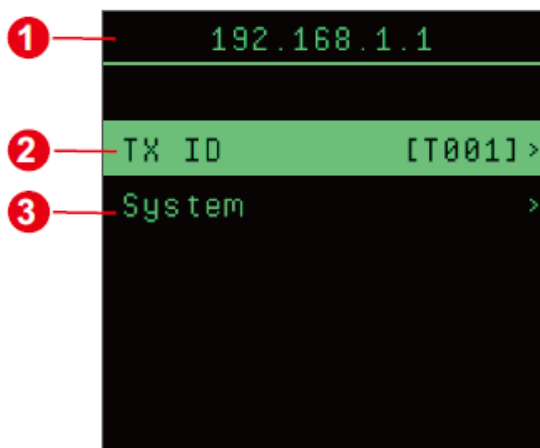


VE8662を受信機にした場合の画面



VE8662を送信機に設定している場合

VE8662のメインメニューでは、機器のIPアドレスを確認できます。また、メニューオプションが2つ提供されています。

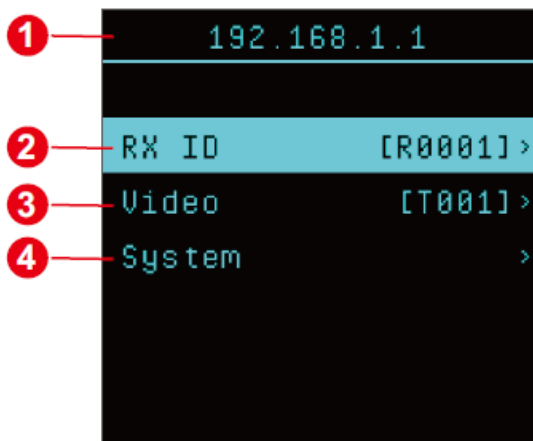


番号	項目	説明
1	IPアドレス	画面表示している本体のIPアドレスを表示します。
2	Tx ID	画面表示している本体のIDです。 機器のIDを変更する場合は、ボタン操作でオプションメニューから変更します。
3	システム	ユーザーが表示・実行できるシステム設定オプションです。オプションメニューにアクセスすると、さらなる操作が行えます。

メインメニューオプションは、前後のナビゲーションボタン（ $\wedge$ / $\vee$ ）を使用して選択できます。また、**ENTER**ボタンを押すと、オプションメニューにアクセスできます。

VE8662を受信機に設定している場合

VE8662のメインメニューでは、機器のIPアドレスを確認できます。また、3つのメニューオプションが選択可能です。



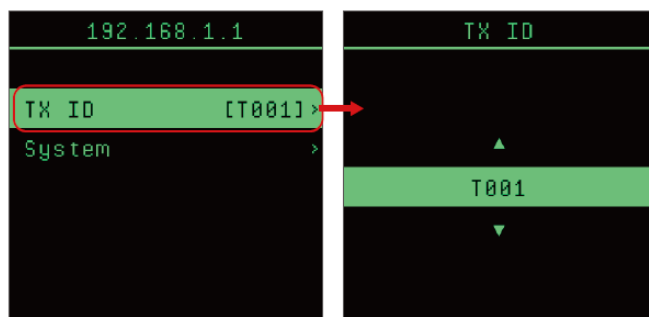
番号	項目	説明
1	IPアドレス	画面表示している本体のIPアドレスを表示します。
2	Rx ID	画面表示している本体のIDです。 機器のIDを変更する場合は、ボタン操作でオプションメニューから変更します。
3	ビデオ	接続中の送信機のID番号を表示します。ENTERボタンを押すと、入力ビデオソースが変更できます。
4	システム	ユーザーが確認・実行できるシステム設定です。詳細は次ページ以降の項目をご参照ください。

メインメニューオプションは、前後のナビゲーションボタン（ $\wedge$ / $\vee$ ）を使用して選択できます。また、ENTERボタンを押すと、オプションメニューにアクセスできます。

デバイスIDの設定

VE8662の本体IDは、次の手順で設定します。

1. メインメニュー画面からIDを選択して、Tx/Rx ID画面に移動します。



2. 利用可能なIDが番号順に一覧表示します。ナビゲーションボタン(Λ / V)を使用してIDを選択したら、ENTERボタンを押します。

注意:

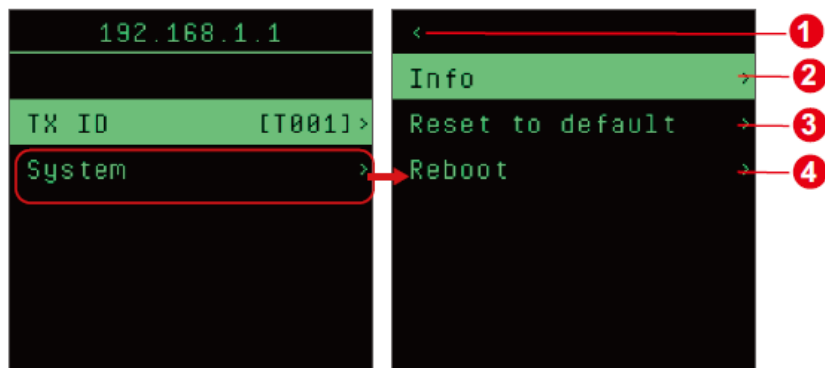
ナビゲーションボタンを押し続けると、メニュー選択の速度を上げられます。

3. 設定の確認や選択を行うには、OKを選択してENTERボタンを押します。また、変更を破棄するには「Cancel」(キャンセル)を選択します。



システム

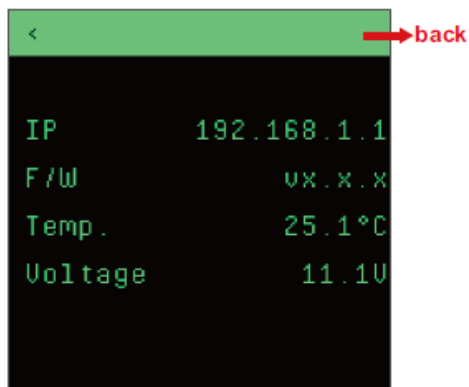
このメニューには4つのオプションがあります。



番号	項目	説明
1	< (戻る)	前のページに戻ります。
2	Info (情報)	この機器の以下の情報を確認できます。 • IPアドレス • ファームウェアバージョン • 本体温度 • 電圧
3	Reset to default (デフォルトへのリセット)	機器を工場出荷時のデフォルトに戻します。
4	Reboot (再起動)	ソフトウェアリセットによる再起動をします。

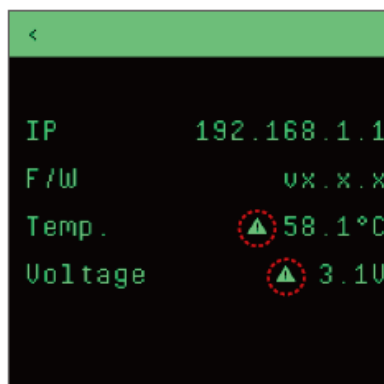
情報

「Info」(情報)ページにアクセスすると、機器の情報を確認できます。



項目	説明
<(戻る)	このオプションを選択すると、前のページに戻ります。
IP	機器のIPアドレスを表示します。
F/W	この機器における現在のファームウェアバージョンを表示します。
Temp.(温度)	この機器における現在の温度を表示します。
Voltage(電圧)	この機器における現在の電圧を表示します。

温度または電圧の異常が検出されると、警告を意味するアイコンが表示しますので、ご注意ください。



デフォルトへのリセット

VE8662を工場出荷設定に復元するには、以下の手順を行います。

1. ナビゲーションボタン(Λ / V)を使用して「Reset to default」(デフォルトにリセット)オプションを選択し、ENTERボタンを押します。

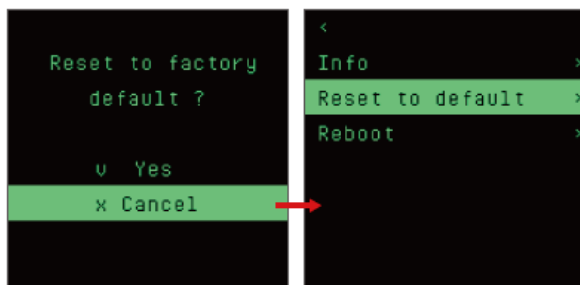


2. 確認画面で「OK」を選択して、リセットを実行します。

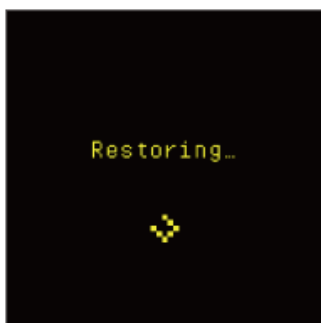


注意:

「Cancel」(キャンセル)を選択すると、システムオプションメニュー画面に戻ります。

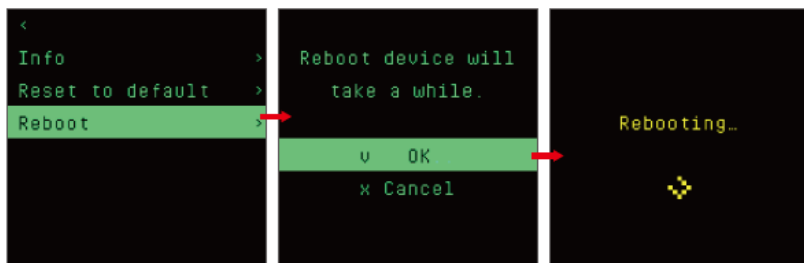


3. 初期化には数秒かかります。完了すると、製品本体が再起動し、メインメニュー画面に移動します。



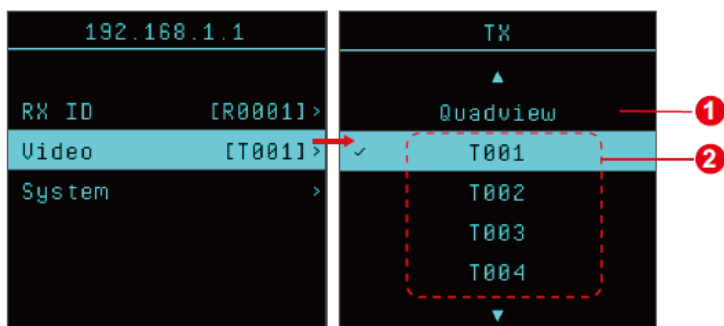
再起動

VE8662をソフトウェアリセットするには、システムオプションメニューにアクセスしてから、「Reboot」(再起動)を選び、選択を確認して実行します。



VE8662受信機に入力ビデオソースを割り当てるには

受信機として設定したVE8662から送信機と接続をするには、メインメニュー画面から「Video」(ビデオ)オプションを選択します。

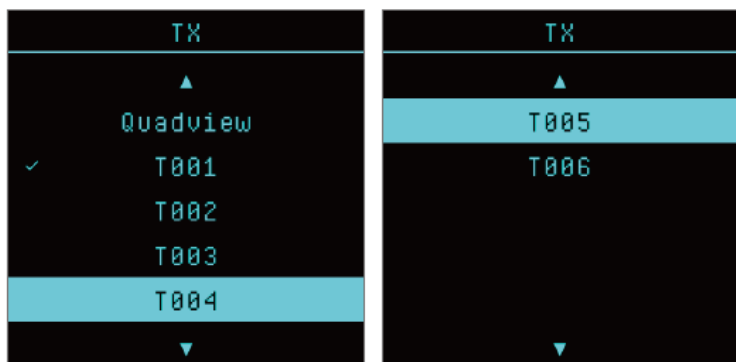


番号	項目	説明
1	クアッドビュー	この機能は初期バージョンで利用できません。
2	送信機デバイスID	同じネットワークセグメント内にある送信機を指定します。 前述のVE8662送信機から利用可能な送信機を選択するには、ナビゲーションボタン(Λ / V)を使用します。

現在接続されている送信機にはチェックマークが付いています。



利用可能な送信機を選択するには、ナビゲーションボタン(Λ / V)でTxソースを選択し、ENTERボタンを押して選択を確定します。



注意:

ナビゲーションボタンを押し続けると、メニュー選択の速度を上げられます。

第4章 ブラウザーのウェブ操作

概要

VE8662は、ブラウザからアクセスした時の操作GUI「ATEN VEマネジャー」を通じてリモートから統合管理できます。送受信機を統合的に設定する役割となります。

対応ブラウザー

対応するウェブブラウザーとそのバージョンについては、以下の表を参照してください。

ウェブブラウザー	対応バージョン
Google Chrome	109以降
Mozilla Firefox	131以降
Microsoft Edge	128以降
Opera	113以降
Safari	18.1以降

操作を始めるには

このセクションでは、ブラウザからのアクセス方法とVE8662の設定方法について解説します。

デバイスのIPアドレスの確認

VEマネジャーにアクセスするには、VE8662本体のIPアドレスを確認する必要があります。

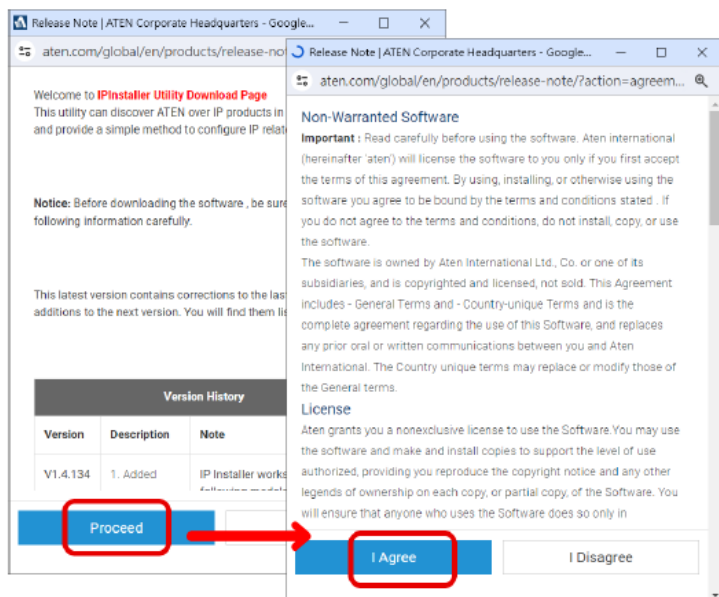
注意:

どの本体にもリモートからログインしても、自動でマスター機にリダイレクトします。

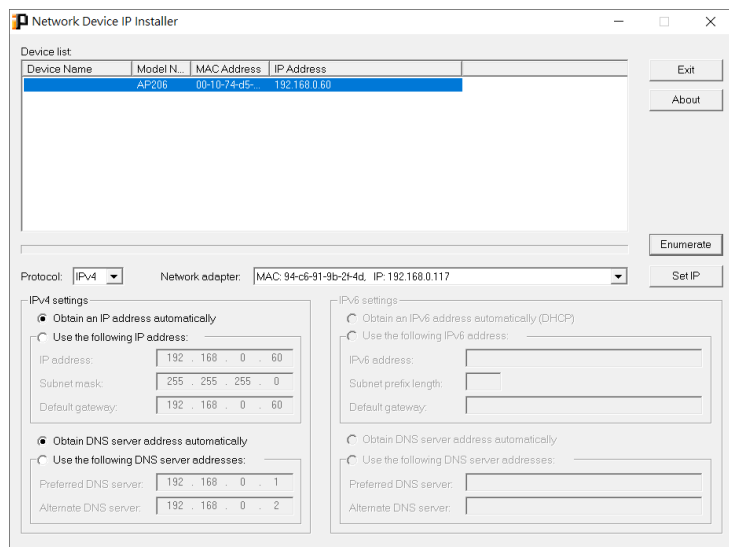
IPインストーラー

ATENユーティリティプログラム「[IPインストーラー](#)」を使用して本体のIPアドレスを取得するには、以下の手順に従ってください。

1. 上記リンクまたはVE8662[製品ページ](#)の「サポートとダウンロード」タブからIPインストーラーをダウンロードします。

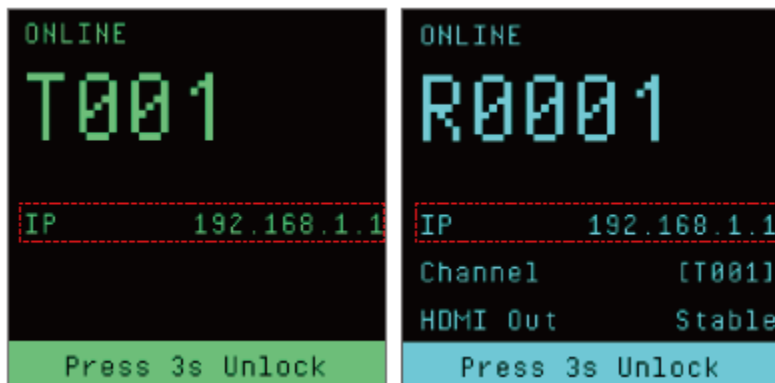


2. IPインストーラーの.zipファイルを解凍し、.exeファイルを実行します。
3. デバイスリストから本体のIPアドレスを取得したら、このIPアドレスを使用してブラウザに入力するとアクセスできます。複数ある場合は、任意のV8662のIPを入力してください。



本体のメニュー画面

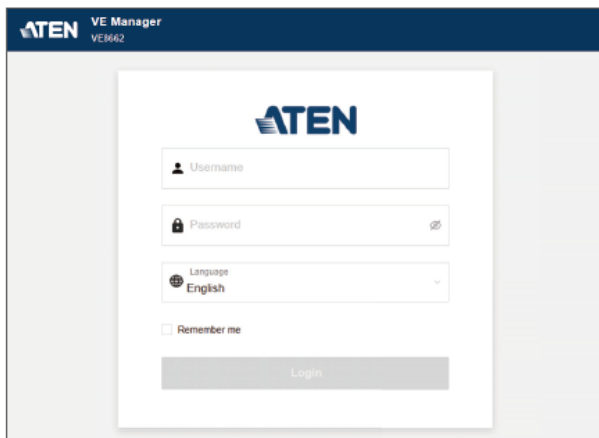
IPインストーラーが使用できない、リストに機器が検出されない場合は、本体のLCD画面からもIPアドレスが確認できます。



ログイン

VEマネジャーにログインするには、以下の手順に従ってください。

1. 対応するウェブブラウザを起動し、製品本体のIPアドレスをアドレスバーに入力します。
2. ログイン画面が表示されたら、ユーザーネームとパスワードを入力し、表示言語を選択して「**ログイン**」ボタンをクリックして続行します。



初回ログイン

初回ログイン時(本体をリセットした後にVEマネジャーに初めてログインする場合を含む)には、パスワード変更をする必要があります。

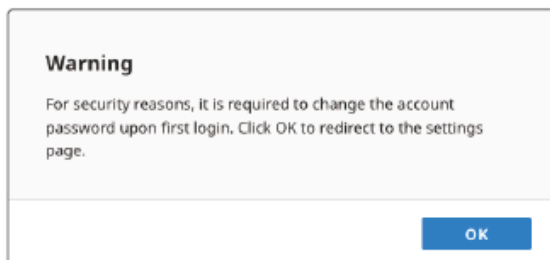
初期設定で利用できるユーザーネームとパスワードは以下の通りです

ユーザーネーム : administrator

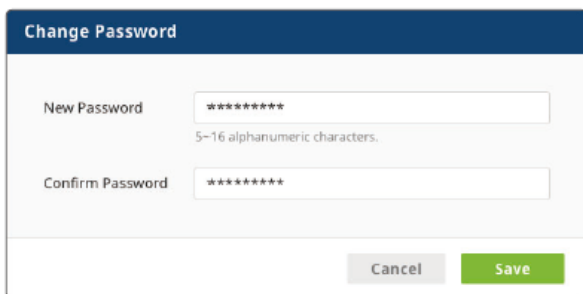
パスワード : password

1. パスワードの変更

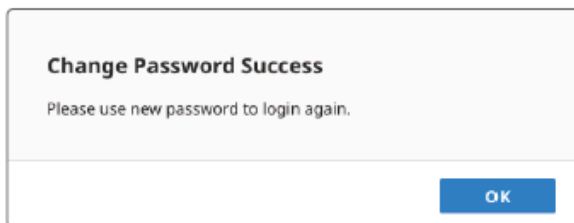
- a) ログインパスワードの変更を求めるプロンプトが表示されたら、「OK」をクリックして続行します。



- b) 新しいパスワードを入力し、関連するフィールドで変更したパスワードを確認したら、「保存」をクリックします。

A form titled "Change Password" in a dark blue header bar. The form has two input fields. The first is labeled "New Password" and contains a masked password "*****". Below this field, the text "5-16 alphanumeric characters." is displayed. The second field is labeled "Confirm Password" and also contains a masked password "*****". At the bottom right of the form, there are two buttons: a gray "Cancel" button and a green "Save" button.

- c) 「パスワードの変更に成功しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックし、新しいパスワードで再ログインします。



2. 日時の更新

日付と時刻を設定するモードを選択します。

The screenshot shows a web interface for adjusting the date and time. The title is "Date / Time" and the main heading is "Adjust Date / Time". There are two radio buttons for "Mode": "Manual" (selected) and "NTP Server". Below this, there are input fields for "Date & Time": "2019-02-01" and "12:00:00". There is a checkbox labeled "Sync with Computer Time" which is currently unchecked. A blue "Setup" button is located at the bottom right of the form.

設定	説明
モード	次の2つのモードから選択します。 • 手動: 日時を手動で設定します。「手動」を選択すると、以下の「日付と時刻」機能が利用可能になります。日付選択ツールと時刻選択ツールを使って、日付と時刻を選択してください。 • NTPサーバー: ネットワーク内にNTPサーバーがある場合は時刻データを取得して同期します。
日付時刻設定	日付選択ツールと時刻選択ツールを使って日付と時刻を設定します。 注意: この機能は手動モードが有効な場合にのみ利用可能です。
コンピューターと同期	リモートアクセスをしているPCの時刻データをVE8662にコピーしたい場合は、チェックを入れます。

3. デバイスの追加

画面の指示に従って、制御・管理する本体を追加します。詳しくは、p.38「デバイスの追加」を参照してください。

Add Device

1 Select Devices

2 Setting IP & Device Name

3 Setting IP

4 Confirm Setting

Transmitter (999)

Refresh

ID	Device Name	MAC Address	ID Type	IP	Subnet Mask	Gateway	Primary DNS	Secondary DNS	Find Me
☐	TR01	YB89GJT	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	TR03	YB89GJT	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	TR03	YB89GJT	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	TR04	YB89GJT	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	TR05	YB89GJT	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	—	IP CAM Module	E3-35-B4-26-11	—	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	—

Receiver (999)

Refresh

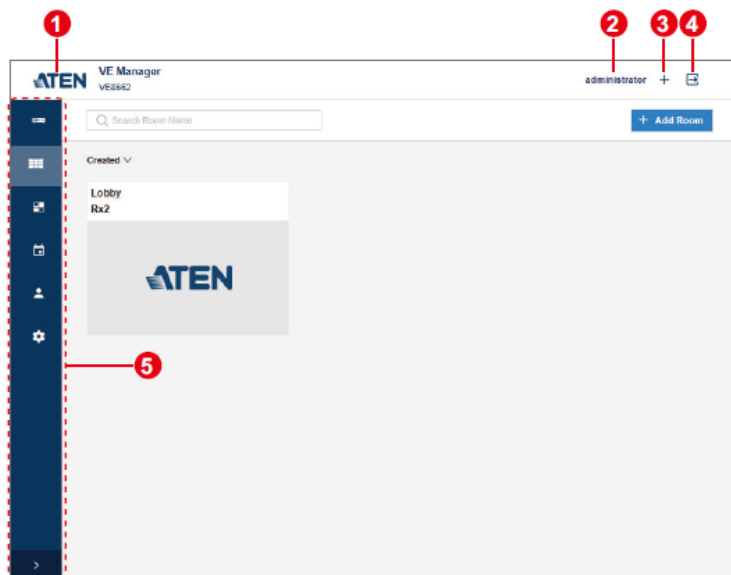
ID	Device Name	MAC Address	ID Type	IP	Subnet Mask	Gateway	Primary DNS	Secondary DNS	Find Me
☐	R001	YB89GJR	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	R002	YB89GJR	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	R003	YB89GJR	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	R004	YB89GJR	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	R005	YB89GJR	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me
☐	R006	YB89GJR	E3-35-B4-26-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	Find Me

Cancel

Next

メイン画面

本体のVEマネージャーにログインすると最初に表示される画面となります。この画面は、「ルーム」ページと呼ばれます。この画面には以下の機能があります。

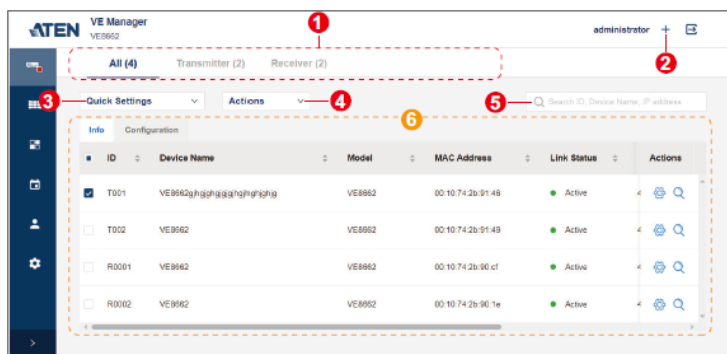


番号	項目	説明
1		ATENのロゴをクリックすると、ATENの公式ウェブサイト に直接アクセスできます。※アクセスにはインターネット環境が必要です
2	ログインしたアカウント	ログインに使用したユーザーネームを表示します。
3	デバイスリスト	クリックすると、デバイスを追加する画面に進みます
4	ログアウト	クリックしてログアウトすると、ログインページにリダイレクトします。

番号	項目	説明
5	サイドメニュー	各アイコンをクリックすると他のページにアクセスします。  左下にあるアイコンをクリックすると、サイドメニューの展開と折りたたみを切り替えます。

デバイス

「デバイス」ページには、VE8662の本体が下図のように一覧表示します。



番号	項目	説明
1	タブバー	クリックしてタブページに入ると、本体が以下の方法で一覧表示します。 ♦ すべて: すべてのVE8662本体 ♦ 送信機: 送信機に設定されたVE8662 ♦ 受信機: 受信機に設定されたVE8662
2	機器の追加	「デバイスの追加」ボタン(+)をクリックすると、「デバイスの追加」ポップアップを開き、増設したVE8662本体を追加できます。
3	クイック設定メニュー	デバイスリストからVE8662本体を選択し、選択した本体に対して設定を行います。
4	アクションメニュー	デバイスリストからVE8662本体を選択し、選択した本体に対して実行するアクションを選択します。
5	検索バー	キーワードを入力して、任意のVE8662本体を検索します。
6	デバイスリスト	「情報」タブには本体の情報が表示します。また、「設定」タブには編集可能な情報と設定が表示します。

デバイスの追加

VEマネジャーにVE8662本体を追加するには、以下の手順で操作を行います。

1. 「デバイスの追加」ボタン(+)をクリックして「デバイスの追加」ポップアップを開きます。
2. 追加したい本体をチェックで選択し、「次へ」をクリックします。

Add Device

1 Select Devices 2 Setting IP & Device Name 3 Setting IP 4 Confirm Setting

Transmitter (999) Refresh

ID	Device Name	MAC Address	ID Type	IP	Subnet Mask	Gateway	Primary DNS	Secondary DNS	Find Me
☒	T001	VE8627	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	T002	VE8627	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	T003	VE8627	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	T004	VE8627	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	T005	VE8627	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	—	IP CAM Module	E9-35-80-28-11	—	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	

Receiver (999) Refresh

ID	Device Name	MAC Address	ID Type	IP	Subnet Mask	Gateway	Primary DNS	Secondary DNS	Find Me
☒	R001	VE8628	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	R002	VE8628	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	R003	VE8628	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	R004	VE8628	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	R005	VE8628	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	
☐	R006	VE8628	E9-35-80-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	

Cancel Next

番号	項目	説明
1	チェックボックス	VEマネジャーに追加したい送信機/受信機を選択します。
2	すべて選択	すべての送信機/受信機を選択します。
3	更新	利用可能なデバイスリストを更新します。
4	探す	ユーザーが本体の場所を探せるように、選択済み本体のLEDを点滅表示します。
5	キャンセル	デバイスの追加を中断し、「デバイスの追加」ポップアップを閉じます。
6	次へ	次の手順に進みます。

- 画面の指示に従って、本体のID、名前、およびIPアドレスを設定します。

- 設定を確認したら、「保存」をクリックして選択した本体を追加します。

- 追加したVE8662本体を本体リストで確認できます。IPアドレスを変更したVE8662は設定を反映させるために自動でソフトウェアリセットが発生します。

デバイスリスト

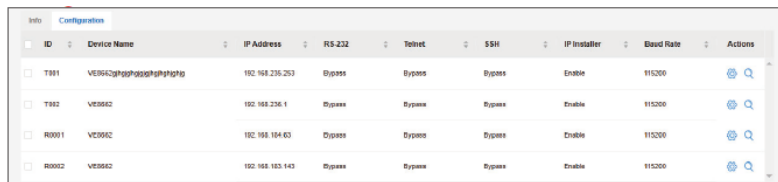
デバイスリストは、VE8662本体を項目別に表示し、確認・設定を行うための一覧です。「情報」タブには本体情報が表示します。また、「設定」タブには編集可能な設定項目が表示します。

「情報」タブ



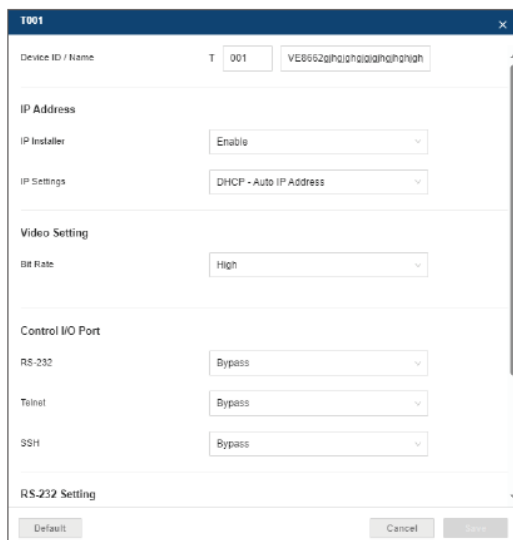
ID	Device Name	Model	MAC Address	Link Status	Temperature	Voltage	DC	PoE	Actions
T901	VE8662ghqghqghqghqghqghq	VE8662	08:10:74:2b:01:48	Active	46°C	4.95 V	✓	—	⚙️ 🔍
T902	VE8662	VE8662	08:10:74:2b:01:49	Active	42°C	4.95 V	✓	—	⚙️ 🔍
R0001	VE8662	VE8662	08:10:74:2b:06:c7	Active	44.5°C	5.013 V	✓	—	⚙️ 🔍
R0002	VE8662	VE8662	08:10:74:2b:06:1e	Active	45°C	4.95 V	✓	—	⚙️ 🔍

「設定」タブ



ID	Device Name	IP Address	RS-232	Telnet	SSH	IP Installer	Baud Rate	Actions
T901	VE8662ghqghqghqghqghqghq	192.168.236.253	Bypass	Bypass	Bypass	Enable	115200	⚙️ 🔍
T902	VE8662	192.168.236.1	Bypass	Bypass	Bypass	Enable	115200	⚙️ 🔍
R0001	VE8662	192.168.164.63	Bypass	Bypass	Bypass	Enable	115200	⚙️ 🔍
R0002	VE8662	192.168.163.143	Bypass	Bypass	Bypass	Enable	115200	⚙️ 🔍

本体をダブルクリックすると、この本体の設定ウィンドウを開きます。設定の変更を行ったら、保存して変更を適用します。



T001

Device ID / Name: T 001 VE8662ghqghqghqghqghqghq

IP Address

IP Installer: Enable

IP Settings: DHCP - Auto IP Address

Video Setting

Baud Rate: High

Control I/O Port

RS-232: Bypass

Telnet: Bypass

SSH: Bypass

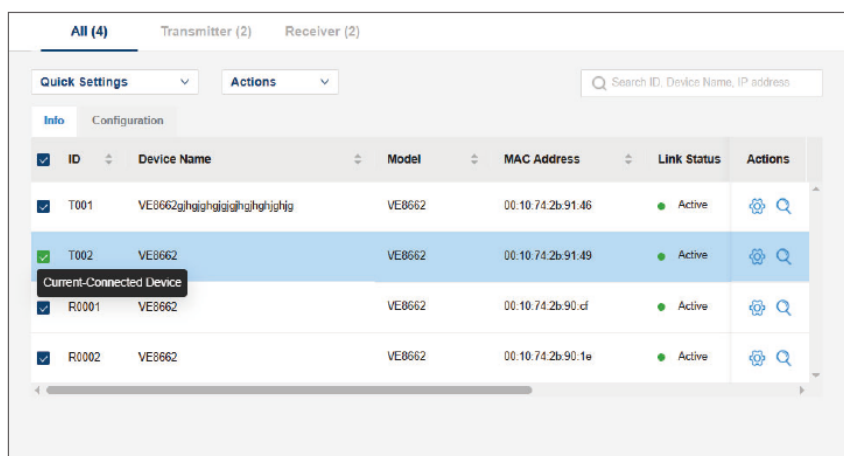
RS-232 Setting

Default Cancel Save

「アクション」ボタンをクリックすると、以下のアクションを直接実行できます。

アクション		説明
	デバイスの編集	本体の設定ウィンドウを開いて変更を行います。
	探す	選択した本体のLEDを点滅させて、ユーザーが本体の位置を見つけられるようにします。

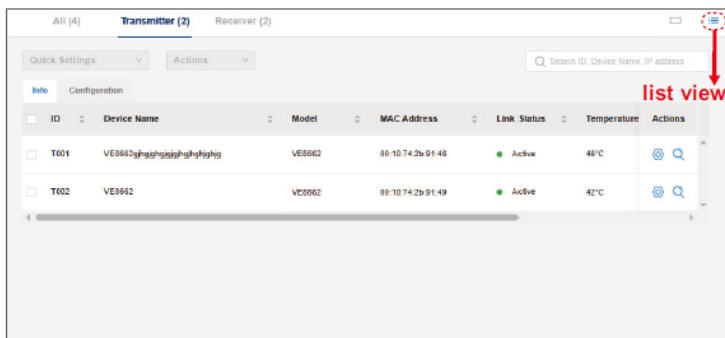
接続中の本体(現在のマスター本体)を選択すると、チェックボックスが緑色で表示します。



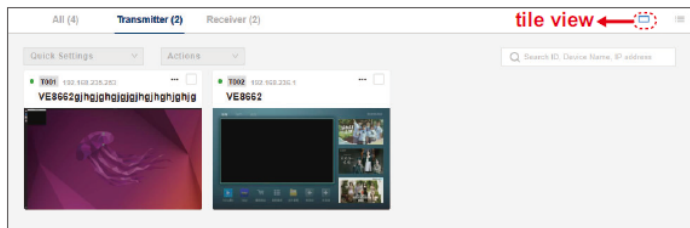
送信機タブ

「送信機」タブのページでは、右上のデバイスリストアイコンで一覧表示またはタイル表示に切り替えられます。

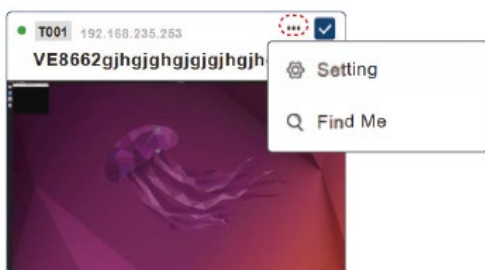
◆ 一覧表示 (☰) :



◆ タイル表示 (□) :



タイル表示で、送信機のタイルカードの「詳細」ボタンをクリックすると、以下の操作ができるオプションメニューが表示します。

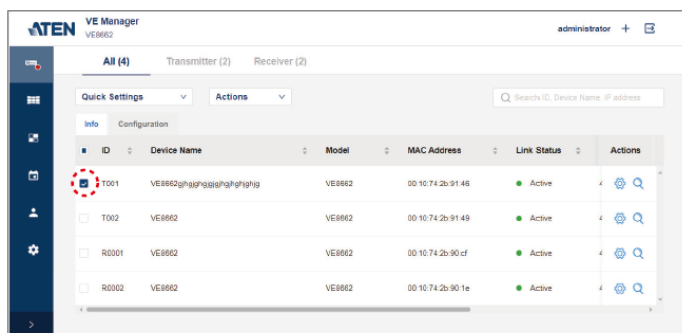


項目	説明
設定	本体の設定ウィンドウを開いて変更を行います。
探す	選択した本体のLEDを点滅させて、ユーザーが本体の位置を見つけれられるようにします。

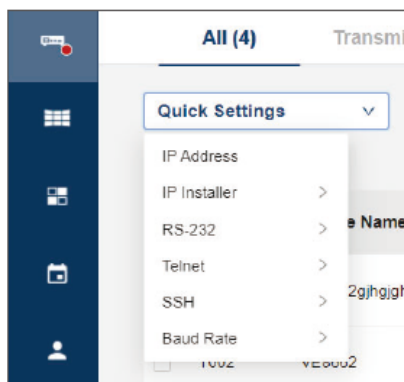
クイック設定メニュー

VE8662で特定の項目のクイック設定を行うには、以下の手順を行います。

1. デバイスリストから、1つ以上の本体を選択してチェックボックスをオンにします。



2. 「クイック設定」ドロップダウンメニューから設定オプションを選択します。



IPアドレス

送信機のIPアドレスを設定する項目です。「IP設定」のオプションドロップダウンメニューには以下の選択項目があります。

The screenshot shows the 'IP Configuration' window. At the top, there's a dropdown menu labeled 'IP Settings' with 'DHCP - Default IP Address' selected. Below this, there's a table with columns: 'ID', 'Current IP Address', and 'Revised IP Address'. The table has one row with ID 'T001'. The 'Current IP Address' is '192.168.235.253' and the 'Revised IP Address' is 'DHCP - Default IP Address'. There are 'Cancel' and 'Save' buttons at the bottom right.

ID	Current IP Address	Revised IP Address
T001	192.168.235.253	DHCP - Default IP Address

- ◆ DHCP - 自動IPアドレス:
このオプションを選択すると、同じネットワークセグメント内DHCPサーバーがあれば、そこから自動的にIPアドレスを取得します。
- ◆ DHCP - デフォルトIPアドレス:
このオプションを選択すると、VE8662がAPIPAを使用して、自動的に重複しないIPアドレスを取得します。
- ◆ 手動:
任意のIPアドレスを指定します。本体のIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力してください。

IPインストーラー

選択した本体が、Windows用アプリ「IPインストーラー」とどのように連携するかを次のモードで設定します。

- ◆ 有効:
IPインストーラーから、製品本体のIPアドレスの確認と設定が行えます。
- ◆ 参照のみ:
IPインストーラーから製品本体のIPアドレスの確認は可能ですが、IPアドレスは変更できません。

RS-232

コマンドモードとは、RS-232コマンドでVE8662本体の設定・制御をする機能です。コマンドモードを無効すると送受信機間のRS-232通信をバイパスで延長する機能へと切り替えます。

- ◆ コマンドモード:有効
- ◆ バイパス:無効

Telnet

このTelnet/SSHコマンドモードとは、イーサネット通信でVE8662本体の設定・制御をする機能です。場合、Telnetコマンド経由でのVE8662本体の設定・制御を、有効または無効にします。

- ◆ コマンドモード:有効
- ◆ バイパス:無効

SSH

VE8662本体のSSH制御を有効または無効にします。

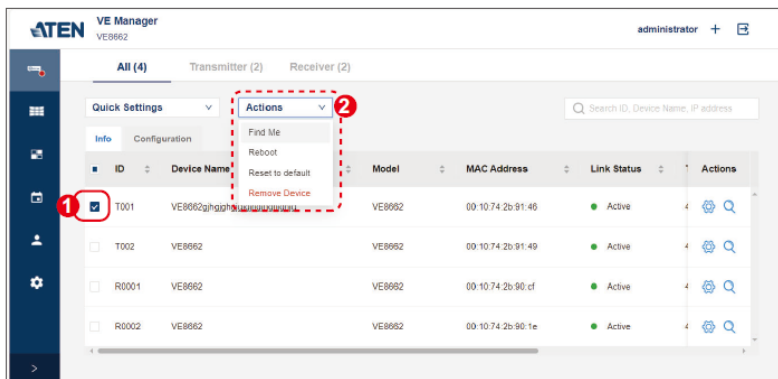
- ◆ コマンドモード:有効
- ◆ バイパス:無効

ボーレート

RS232で使用するボーレートを選択します(115200または9600)。

アクションメニュー

選択した本体に対してアクションを実行するには、以下の手順を行います。

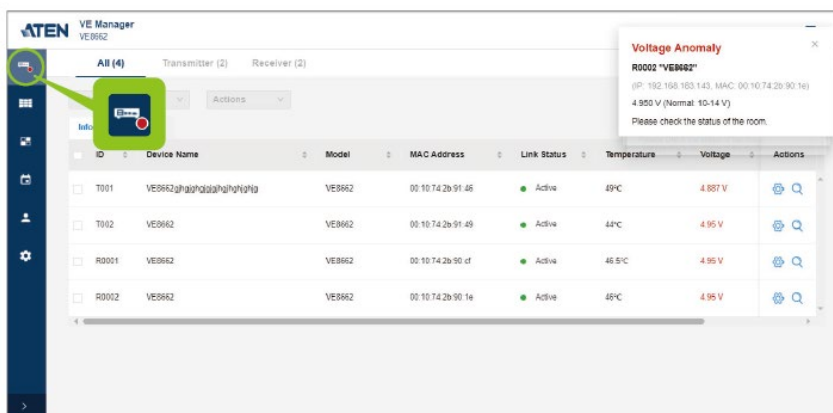


1. チェックボックスをオンにしてVE8662本体を選択します（複数選択可）。
2. 実行するアクションを、「アクション」ドロップダウンメニューから選択します。

アクション	説明
探す	選択した本体のLEDを点滅させて、ユーザーが本体の位置を見つけられるようにします。
再起動	選択した本体をオフにしてから、すぐに再起動します。
デフォルトへのリセット	選択した本体を工場出荷時のデフォルト状態に復元します。
デバイスの削除	選択した本体をVEマネージャーから削除します。

重要な通知

本体にエラーが発生すると、サイドメニューの**デバイス**アイコンの横に赤い印が表示されます。「**デバイス**」ページにアクセスして重要な通知を確認してください。



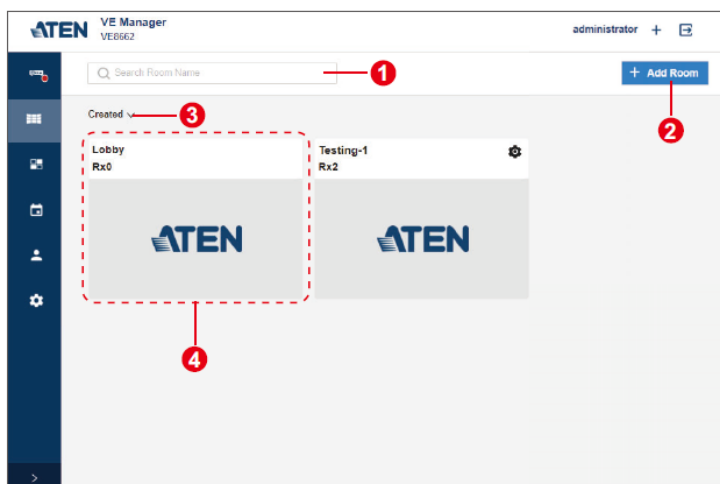
ルームの管理

VEマネジャーのルームは、Microsoft 365のルームメールボックスに似た機能を提供します。VEマネジャーで仮想的に作成され、会議室などの物理的な場所に割り当てられるもので、その場所に属する送信機、受信機、モニターを管理・操作・設定するのに役立ちます。

ルームのメインページには、すべてのルームが表示します（デフォルトのルームであるロビーとユーザーが作成したルームを含む）。ルームのメインページにアクセスすると、仮想ルームの利用方法を整理し、VE8662本体を管理できます。

注意:

デフォルトのルームであるロビーは、削除や名前の変更ができません。

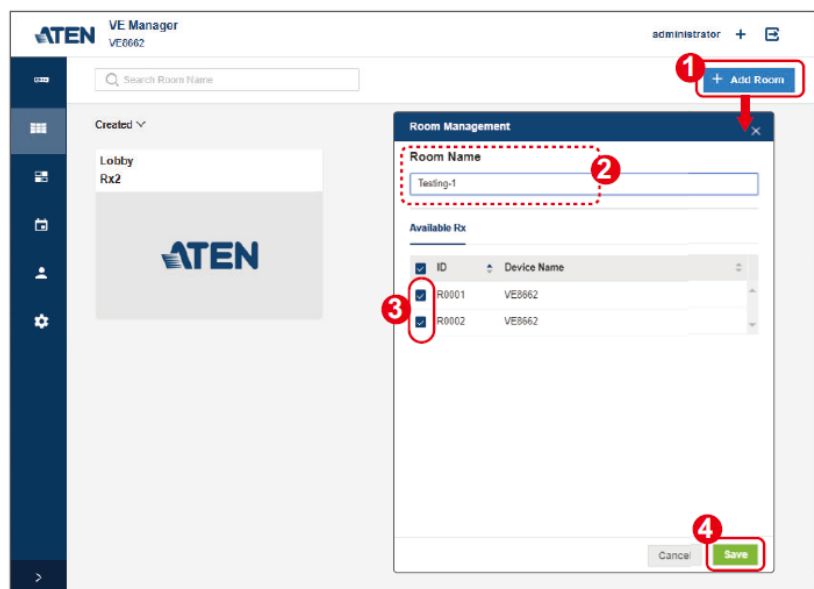


番号	項目	説明
1	検索バー	ルームのキーワードを入力すると、そのキーワードに合致したルームカードをクイック検索して表示します。
2	部屋の追加	「部屋の追加」ボタンをクリックすると、部屋を新規作成します。

番号	項目	説明
3	表示順 ドロップダウンメニュー	ルームの表示順を選択します。 ♦ 作成: 日時でルームを並び替えます。 ♦ A→Z: アルファベット順でルームを並び替えます。
4	ルームカード	仮想ルームの情報を表示します。ルームカードをクリックすると、設定ページにアクセスします。

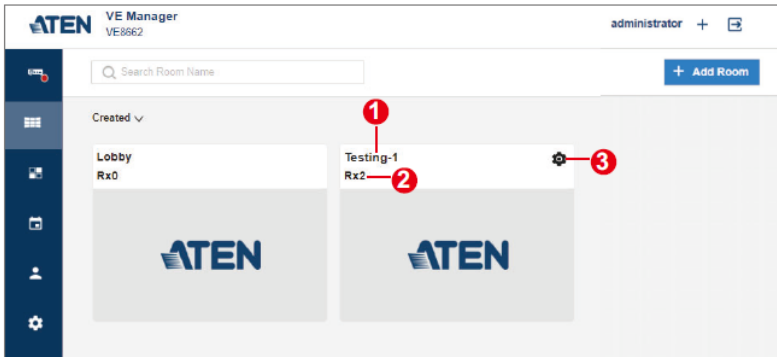
ルームの新規作成

ルームを新規作成するには、以下の手順で操作を行います。



1. 「ルームの追加」ボタンをクリックして、「ルームの管理」ポップアップを開きます。
2. ルームの名前を設定します。
3. 利用可能な受信機をルームに割り当てます。
4. 「保存」をクリックして新規ルームの設定を完了します。

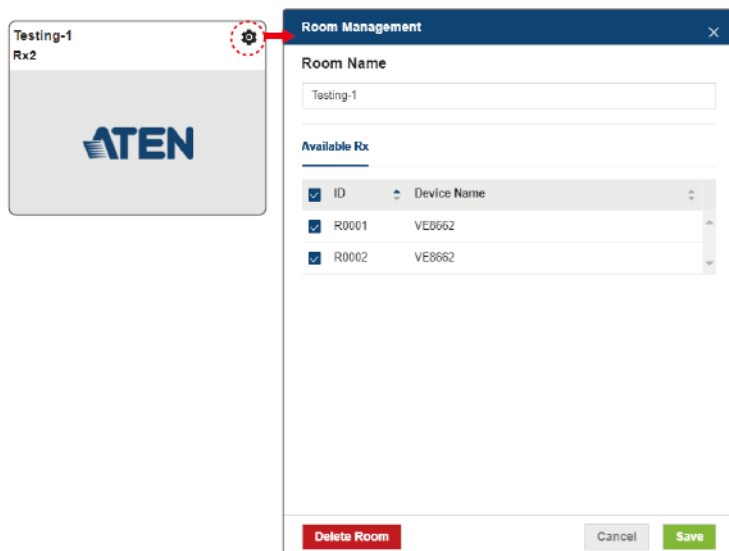
ルームを正常に作成すると、ルームカードが一覧に表示します。



番号	項目	説明
1	ルーム名	ルームに指定する名前です。
2	受信機の台数	ルームに属する受信機の数です。
3	ルーム設定ボタン	「ルームの管理」ポップアップを開いて、ルームの編集・削除を行います。 注意: デフォルトのルームであるロビーでは利用できません。

既存ルームの編集・削除

ルームの設定編集や削除するには、設定ボタンをクリックして「ルームの管理」ポップアップを開きます。



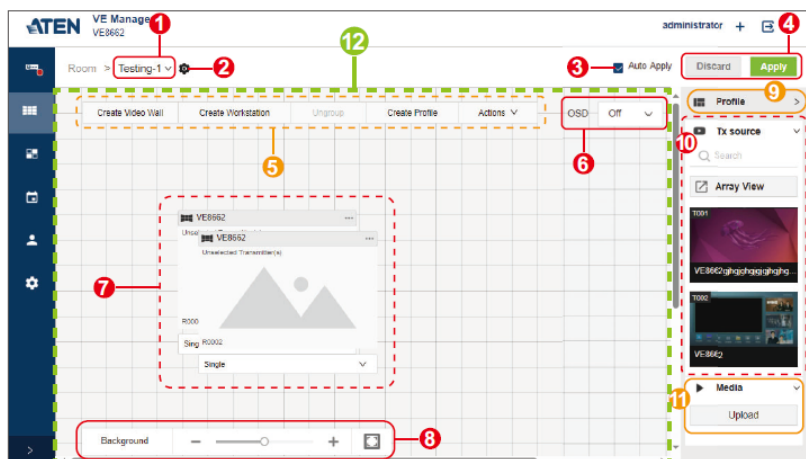
- ◆ 変更を加えて保存します。
- ◆ ルームを削除するには、「削除」ボタンをクリックして操作を確認します。

注意:

ルームが削除されると、ルームに属する受信機はデフォルトの部屋(ロビー)に移動します。

ルームの設定

アクセスしたいルームのカードをクリックして設定ページにアクセスすると、詳細設定が行えます。



番号	項目	説明
1	ルームの選択	クリックすると、ドロップダウンメニューを展開して、すべてのルームオプションを一覧表示します。アクセス対象のルームを選択すると、そのルームの設定ページに切り替わります。
2	設定	クリックすると、「ルームの管理」ポップアップを開き、以下のオプションを表示します。 • ルームの名称変更 • 受信機の追加・削除 • ルームの削除 注意: この機能はデフォルトのルーム(ロビー)では利用できません。
3	自動適用	有効にすると、ルームに対して行った変更が即座に反映します。

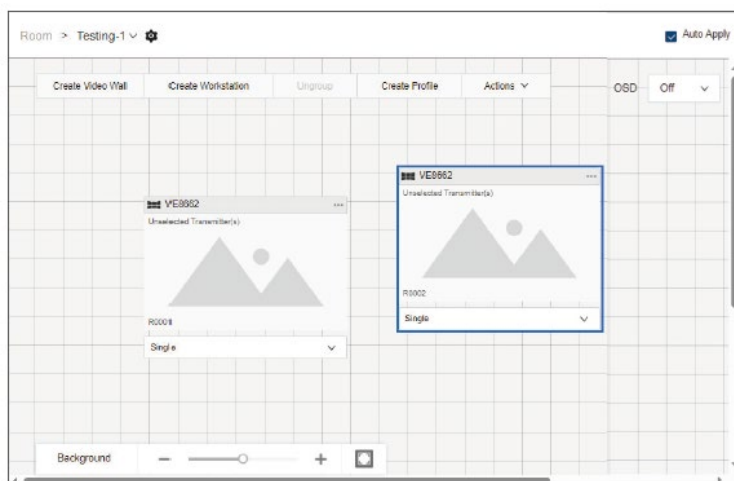
番号	項目	説明
4	適用/破棄	自動適用が無効の場合、以下の操作が可能です。 ◆ 適用: 現在の変更を適用します。 ◆ 破棄: 変更した設定をキャンセルします。
5	ツールバー	ルームに所属する受信機を管理するためのボタンとアクションメニューを提供します。詳細は、p.55「ツールバー」を参照してください。
6	メニュー画面設定	出力ディスプレイに受信機情報(受信機ID、モデル名、本体IPアドレス、異常警告)を表示するかどうかを設定します。オプションは次のとおりです。 ◆ オフ: 機能を無効にします。 ◆ オン: 機能を有効にします。 ◆ 10秒: イベントの発生時に受信機情報を10秒間表示します。
7	受信機/ ビデオウォール/ ワークステーション カード	ルームに所属する受信機/ビデオウォール/ワークステーションです。カードを希望の位置にドラッグして配置します。
8	背景設定	背景設定ツールを使用すると、以下の操作が可能です。 ◆ ルームの設定ページに表示される受信機/ビデオウォール/ワークステーションカードのサイズを変更します。 ◆ ルームの場所レイアウトなどの背景画像をアップロードして、本体を整理できます。
9	プロフィール一覧	既存のプロファイルを選択して適用します。 詳細はプロフィール管理を参照してください。

番号	項目	説明
10	Txソース一覧	Txソース一覧には以下が含まれます。 ◆ 検索バー: 必要な送信機を見つけるためにキーワード(本体IDまたは本体名)を入力します。 ◆ 送信機一覧: 利用可能な送信機のみが表示します。送信機のビデオソースを受信機/ビデオウォール/ワークステーションにドラッグし、対応するディスプレイモニターに出力します。 ◆ 配列プレビュー: クリックすると、利用可能なビデオソースを表示するウィンドウを開きます。
11	メディアリスト	メディア一覧には以下が含まれます。 ◆ 一覧: アップロードされた画像を表示します。画像を受信機/ビデオウォール/ワークステーションにドラッグし、対応するディスプレイモニターに出力します。 ◆ アップロード: 最大3つの画像ファイルをjpgまたはpng形式でアップロードします。1ファイルの最大サイズは5MBです。また、サポートされる解像度は1024×1024～4096×2160です。
12	配置領域	受信機/ビデオウォール/ワークステーションカードが配置される場所です。

ツールバー

ツールバーには、受信機/ビデオウォール/ワークステーションで機能を実行するボタンが表示します。

グループ化/グループ解除機能や「**アクション**」メニュー項目を使用するには、まず対象の受信機/ビデオウォール/ワークステーションを選択する必要があります。受信機/ビデオウォール/ワークステーションのカードをクリックして選択すると、カードフレームが青色で強調表示します。



対象となるカードを再度クリックすると、そのカードの選択を解除します。

ビデオウォールの作成

「ビデオウォールの作成」ボタンをクリックすると、「ビデオウォールの作成」ポップアップを開きます。ビデオウォールを作成するには、以下の手順に従って操作してください。

The screenshot shows the 'Create Video Wall' dialog box. On the left is a settings panel with four sections: 'NAME' (1) with a text field containing 'Video Wall'; 'DISPLAY' (2) with 'Horizontal' and 'Vertical' counts (both 2) and orientation icons; 'Bezel' (3) with an 'Apply to all' checkbox and a bezel size input field; and 'LAYOUT' (4) with 'Video Wall' selected and 'Splitter' as an option. On the right is a preview area (7) showing a 2x2 grid of video sources. Above the preview are icons for zoom and pan (5) and a zoom slider (6). At the bottom right are 'Cancel' and 'Save' buttons (8).

1. ビデオウォールの名前を設定します。
2. ビデオウォールに属するディスプレイモニターの台数を入力し、表示の向きを選択します。
3. ベゼル(画面の周囲の境界)をミリメートル単位で設定します。また、ベゼル設定をすべての境界に適用する場合は、「**すべてに適用**」を有効にします。
4. ビデオウォールの操作モードを選択します。

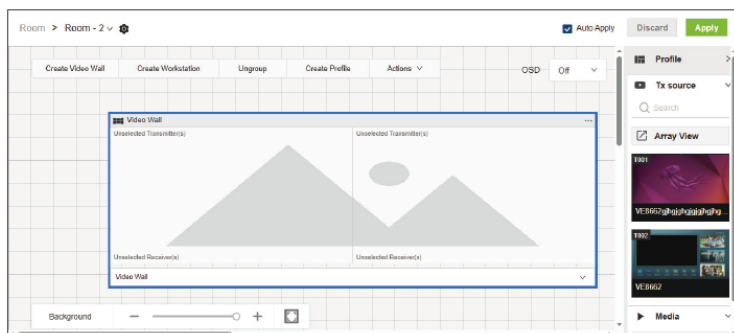
レイアウト	説明
ビデオウォール	ビデオウォールを設定します。
スプリッター(分配器)	複数のモニターに映像を分配表示するよう設定します。

5. オプションでボタンを使用して、レイアウトプレビューのサイズを変更します。

項目	説明	
	フル画面	レイアウトプレビューを、ポップアップウィンドウのプレビュー領域全体に合わせます。
	高さを合わせる	レイアウトプレビューを、プレビュー領域の高さに合わせます。
	幅を合わせる	レイアウトプレビューを、プレビュー領域の幅に合わせます。

6. オプションで、ズームスライダーを使用すると、レイアウトプレビューのズームレベルを変更できます。また、「ズームして合わせる」ボタンを使用すると、レイアウトプレビューをポップアップウィンドウのプレビュー領域に自動的に合わせられます。
7. レイアウトプレビューは、構成を視覚化するのに役立ちます。各ディスプレイモニターの出力受信機をドロップダウンメニューで選択します。
8. ビデオウォールを作成する場合は、「保存」をクリックします。また、設定を破棄する場合は、「キャンセル」をクリックします。

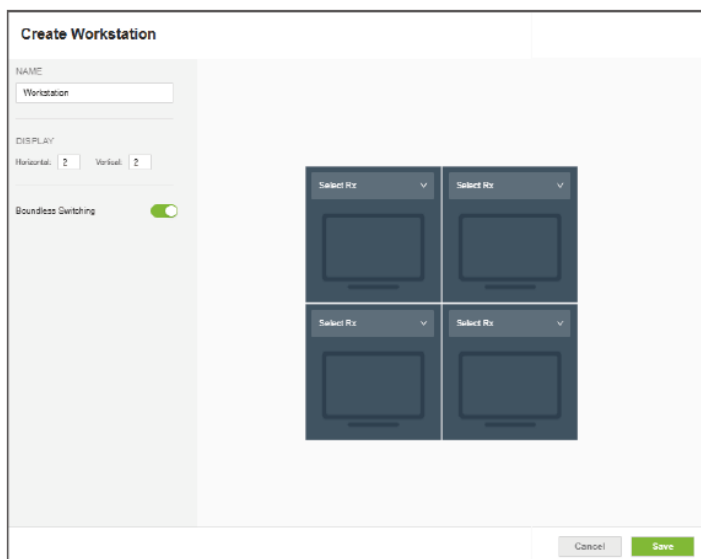
ビデオウォールは、正常に作成されるとルームの配置領域に表示します。Txソース一覧とメディア一覧からビデオ/メディアをドラッグすると、表示コンテンツを編集できます。詳細は、p.67「ソースの割り当て」を参照してください。



ワークステーションの作成

VE8662のレシーバーにキーボード・マウスを接続して操作をする場合は、ワークステーションを作成します。次の手順に従って操作してください。

1. ツールバーの「ワークステーションの作成」ボタンをクリックして、「ワークステーションの作成」ウィンドウを開きます。



2. ワークステーションの名前を入力します。
3. ワークステーションに属するディスプレイモニターの台数を入力します。
4. 「マルチスクリーンコントロール」を有効/無効にします。マウスをディスプレイ境界を越えて移動して、別のコンピュータを操作できる機能です。
5. レイアウトプレビューは、構成を視覚化するのに役立ちます。各ディスプレイモニターの出力受信機をドロップダウンメニューから選択します。
6. ワークステーションを作成する場合は、「保存」をクリックします。また、設定を破棄する場合は、「キャンセル」をクリックします。

ワークステーションは、正常に作成されるとルームの配置領域に表示します。Txソース一覧とメディア一覧からビデオ/メディアをドラッグすると、表示されるコンテンツを編集できます。詳細は、p.67「ソースの割り当て」を参照してください。

グループ解除

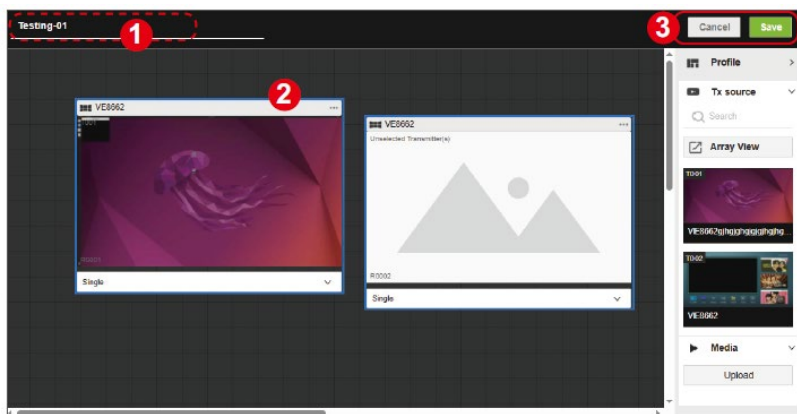
ワークステーションまたはビデオウォールのグループを解除するには、以下の操作を行います。

1. グループを解除したい既存のワークステーション/ビデオウォールを選択します。
2. ツールバーの「**グループ解除**」ボタンをクリックします。
3. グループが解除されて、ワークステーション/ビデオが個々の受信機に分解します。

プロファイルの作成

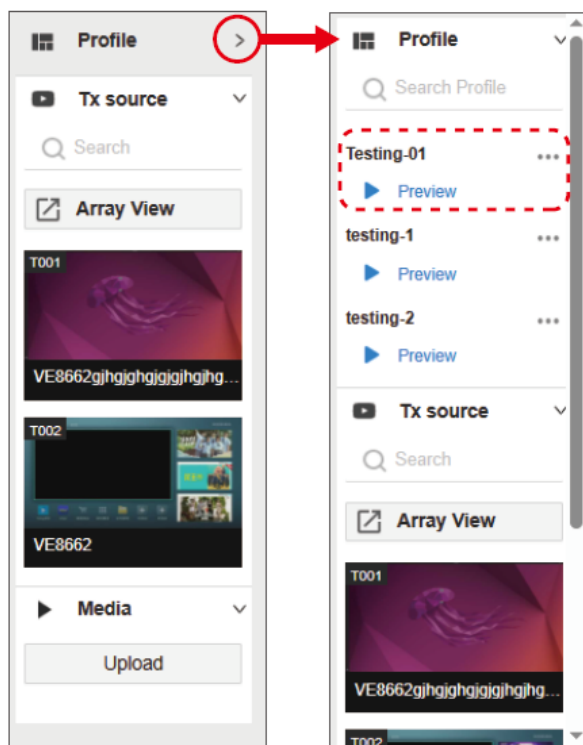
「**プロファイルの作成**」ボタンをクリックすると、現在のビデオ受信機/ビデオウォールの組合せ一式を呼び出せるようプロファイルとして保存します。

注意: ワークステーションの設定はプロファイルとして保存できません。



1. 作成するプロファイルの名前を入力します。
2. 受信機/ビデオウォールをクリックして選択します。
3. 新規プロファイルを作成する場合は、「**保存**」をクリックします。また、変更を破棄する場合は、「**キャンセル**」をクリックします。

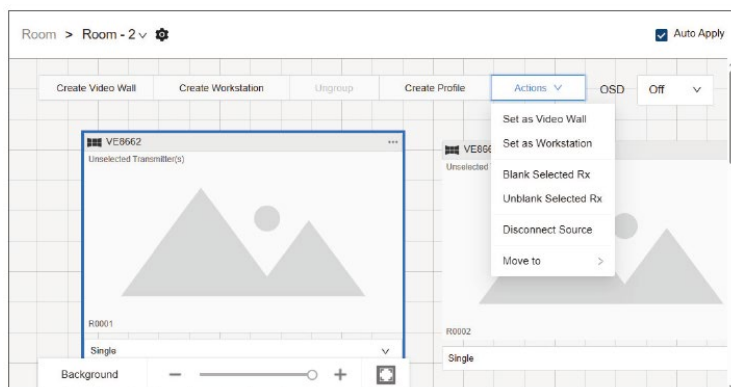
クリックしてプロフィール一覧を展開すると、新しく作成されたプロフィールが一覧に表示します。



プロフィール操作の詳細については、p.75「プロフィールの管理」を参照してください。

アクション

既存の受信機/ビデオウォール/ワークステーションのカードを選択すると、アクションメニューが利用可能になります。オプションは次のとおりです。



項目	説明
ビデオウォールとして設定	選択したターゲットをビデオウォールとして設定します。
ワークステーションとして設定	選択したターゲットをワークステーションとして設定します。
選択したRxをブランクにする	選択したターゲット受信機のモニター表示コンテンツを無効にします。、ターゲットのモニタースクリーンをブランクにします。 注意:この機能はワークステーションには適用されません。
選択したRxのブランクを解除	選択したターゲット受信機のモニターのブランク表示を有効にします。 注意:この機能はワークステーションには適用されません。
ソースを切断	送信機からソースビデオを切断します。 注意:この機能はワークステーションには適用されません。
移動	ターゲットを他のルームに移動します。利用可能なルームは次のオプションメニューにあります。

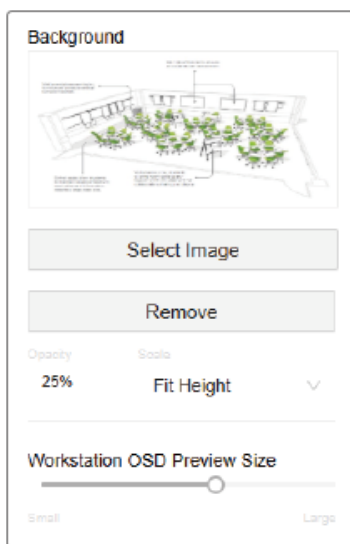
背景設定

背景設定ツールは以下の機能を提供します。フロア図などを掲示することで表示状態の確認がしやすくなります。



1. 背景画像設定

設定メニューをクリックして開くと、ルームの背景画像(場所レイアウトなど)を設定できます。本体位置の特定に役立ちます。



項目	説明
サムネイルの プレビュー	現在の背景画像と選択済みの背景画像のサムネイルを表示します。
画像選択	ルームの背景画像としてアップロードする画像を選択します。ファイルは、.jpgまたは.png形式の最大5MBのファイルをアップロードしてください。解像度の制限はありません。
削除	背景画像を削除します。

項目	説明
不透明性	背景画像の不透明度をパーセンテージで設定します。
スケーリング	背景画像に適したサイズを選択します。 • フル画面: 背景画像をルームの配置領域全体に合わせます。 • 高さに合わせる: 背景画像をルームの配置領域の高さに合わせます。 • 幅に合わせる: 背景画像をルームの配置領域の幅に合わせます。
ワークステーションのメニュー画面プレビューサイズ	スライダーを使用してルームの配置領域にあるすべての受信機/ビデオウォール/ワークステーションのプレビュー画面サイズを調整します。

2. ズームスライダー

ルームの配置領域およびその上の受信機/ビデオウォール/ワークステーションカードのズームレベルを、ズームスライダーで変更します。

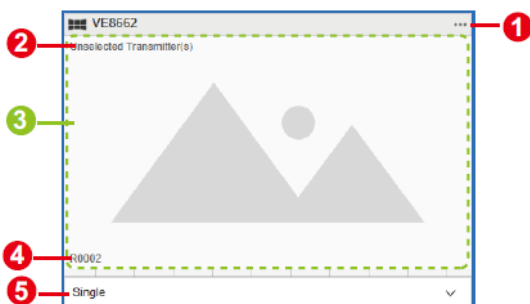
3. ズームして合わせる

配置領域とその上のカードを、「ズームして合わせる」ボタンで自動的にサイズ変更します。

受信機/ビデオウォール/ワークステーションの管理

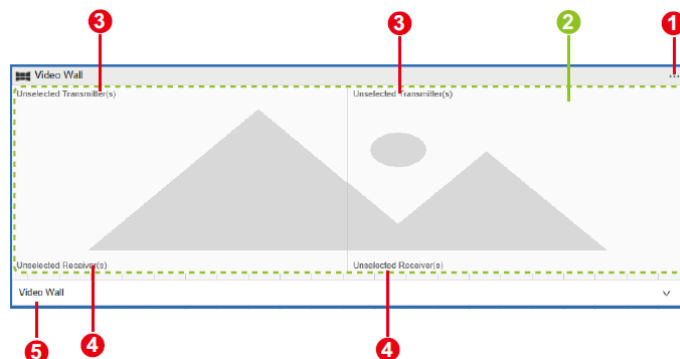
受信機、ビデオウォール、ワークステーションは、以下の図に示すようにルームの配置領域にカードとして表示します。

◆ 受信機



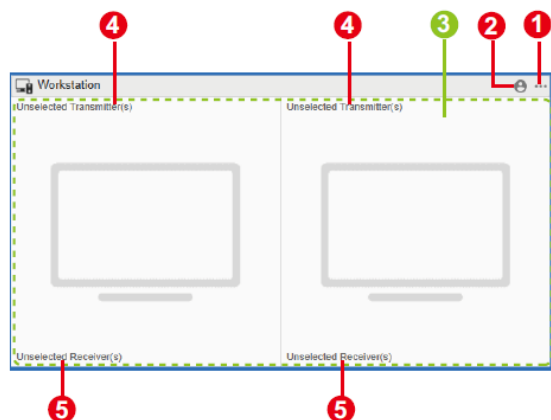
番号	項目	説明
1	詳細ボタン	「詳細」ボタンをクリックすると、その他の操作用の設定メニューを開きます。詳細は、p.67「設定メニュー」を参照してください。
2	入力ソースTx ID	現在の入力ビデオソースの送信機IDを表示します。
3	プレビュー	受信機上のビデオコンテンツを表します。
4	接続済みRx ID	受信機IDを表示します。
5	操作モード	受信機の実作モードを選択します。現在、シングルビューモードのみが利用可能です。

◆ ビデオウォール



番号	項目	説明
1	詳細ボタン	「詳細」ボタンをクリックすると、その他の操作用の設定メニューを開きます。詳細は、p.67「設定メニュー」を参照してください。
2	プレビュー	ビデオウォール上のビデオコンテンツを表します。
3	入力ソースTx ID	現在の入力ビデオソースの送信機IDを表示します。
4	接続済みRx ID	受信機IDを表示します。
5	操作モード	ビデオウォールの操作モードを選択します。 ◆ビデオウォール: ビデオウォールを設定します。 ◆スプリッター: 複数モニターで映像分配表示ができるように設定します。

◆ ワークステーション



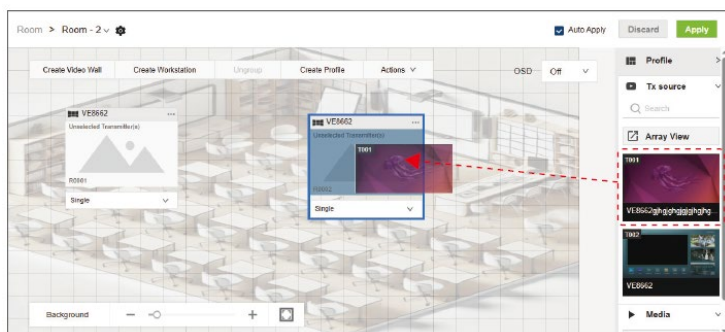
番号	項目	説明
1	詳細ボタン	「詳細」ボタンをクリックすると、その他の操作用の設定メニューを開きます。詳細は、p.67「設定メニュー」を参照してください。
2	ログイン状態	ワークステーションにユーザーがログイン状態を表示します。 ◆  ワークステーションとしてレシーバーにサインインしているユーザーはいません。  Work...  ... Not logged in ◆  ワークステーションにユーザーがサインインしています。ログイン状態のアイコンにカーソルを移動すると、ログインしているユーザーアカウントを確認できます。  Work...  ... Account name

番号	項目	説明
3	プレビュー	ワークステーション上のビデオコンテンツを表します。
4	入力ソースTx ID	現在の入力ビデオソースの送信機IDを表示します。
5	接続済みRx ID	受信機IDを表示します。

ソースの割り当て

以下の手順に従って入力ソースを割り当てます。

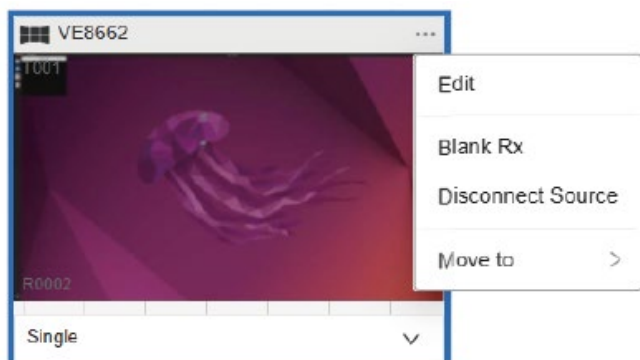
1. 送信機のソースリストで割り当てるソースと、ターゲットとなる受信機/ビデオウォール/ワークステーションを特定します。
2. ソースビデオを、ターゲットとなる受信機/ビデオウォール/ワークステーションを選択して、プレビュー領域にドラッグします。



設定メニュー

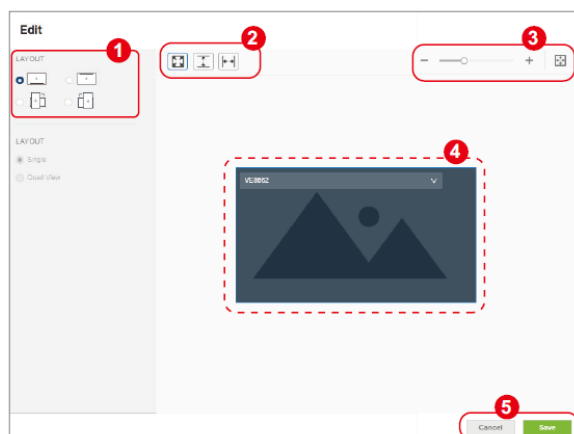
受信機/ビデオウォール/ワークステーションカードの「詳細」ボタンをクリックすると、以下の操作を行うための設定メニューを開きます。

◆ 受信機



項目	説明
編集	ポップアップを開いて、受信機の変更を行います。
Rxのブランク表示/ ブランク表示なし	受信機のブランク表示(ディスプレイの電源スタンバイを防止する黒画面表示)を、有効または無効にします。
ソースを切断	送信機からソースビデオを切断します。
移動先	受信機を他のルームに移動します。利用可能なルームは次のオプションメニューにあります。

変更は、受信機の「**編集**」ポップアップでできます。

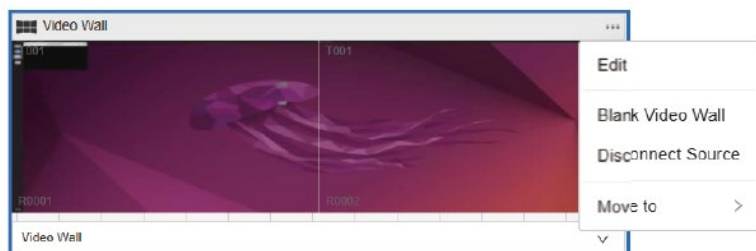


1. 表示の向きを選択します。
2. オプションで、レイアウトプレビューのサイズをボタンで変更できます。

項目		説明
	フル画面	レイアウトプレビューを、ポップアップウィンドウのプレビュー領域全体に合わせます。
	高さを合わせる	レイアウトプレビューを、プレビュー領域の高さに合わせます。
	幅を合わせる	レイアウトプレビューを、プレビュー領域の幅に合わせます。

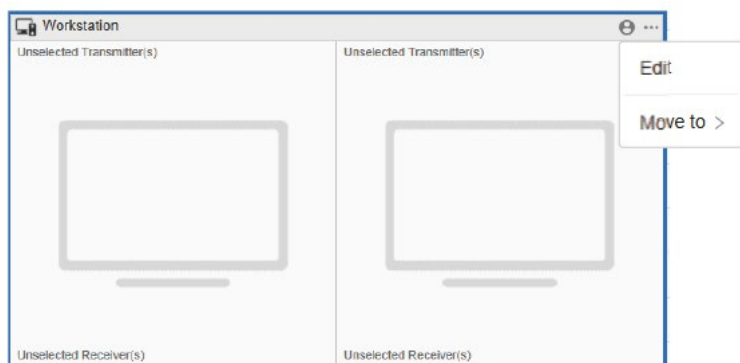
3. ズームスライダーを使用すると、レイアウトプレビューのズームレベルを変更できます。また、「ズームして合わせる」ボタンを使用すると、レイアウトプレビューをプレビュー領域に合わせて自動的にサイズ変更できます。
4. レイアウトプレビューは構成を視覚化するのに役立ちます。ディスプレイモニターの出力受信機をドロップダウンメニューで選択します。
5. ビデオウォールを作成する場合は「**保存**」をクリックします。また、設定を破棄する場合は、「**キャンセル**」をクリックします。

◆ ビデオウォール



項目	説明
編集	ビデオウォールの作成ポップアップを開いて変更を行います。詳細は、p.56「ビデオウォールの作成」を参照してください。
ビデオウォールのブランク表示 /ブランク表示なし	ビデオウォールのブランクモニター表示を有効または無効にします。
ソースを切断	送信機からソースビデオを切断します。
移動先	ビデオウォールを他のルームに移動します。利用可能なルームは次のオプションメニューにあります。

◆ ワークステーション



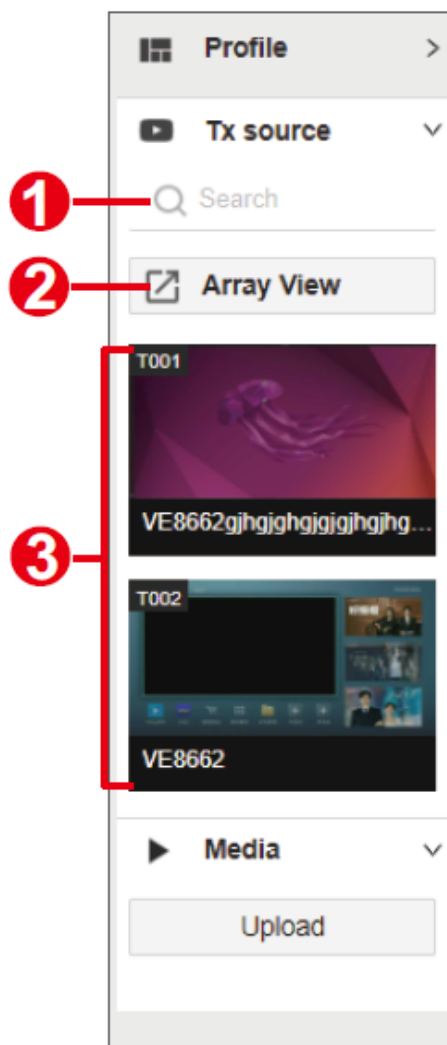
項目	説明
編集	ワークステーションの作成ポップアップを開いて変更を行います。詳細は、p.58「ワークステーションの作成」を参照してください。
移動先	ワークステーションを他のルームに移動します。利用可能なルームは次のオプションメニューにあります。

ソースパネルのコントロール

ルームの右側にあるソースパネルには、プロファイルリスト、Txソースリスト、メディアリストが含まれています。このセクションでは、Txソースリストとメディアリストの使用方を説明します。プロファイルリストの詳細については、p.75「プロファイルの管理」を参照してください。

Txソースリスト

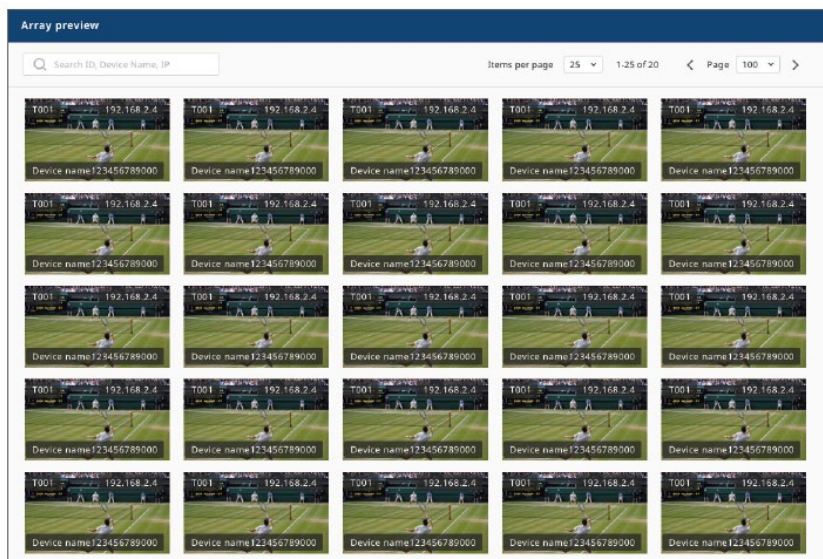
Txソースリストは、検索バー、送信機リスト、アレイプレビューの3つの部分で構成されています。



番号	項目	説明
1	検索バー	特定の送信機を検索するためにデバイスIDまたは本体名を入力します。
2	アレイビュー	ウィンドウを開いて、ルームに許可されたすべての送信機を表示します。
3	送信機一覧	ルームに許可された送信機を表示します。

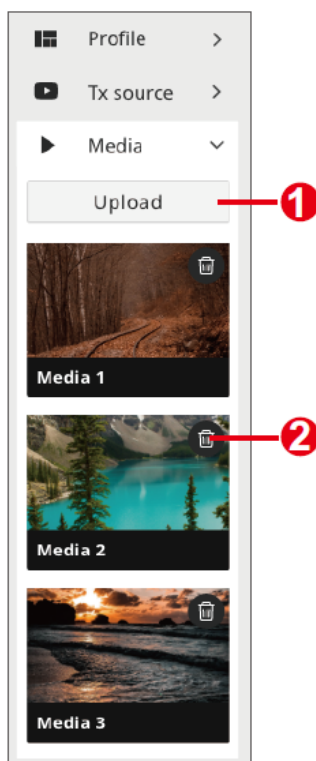
送信機リストとアレイビューウィンドウのビデオサムネイルプレビューは、ライブビデオのプレビューを表示します。送信機リストの送信機のビデオプレビューを、ターゲットとなる受信機、ビデオウォール、またはワークステーションにドラッグすると、ビデオソースを割り当てます。ドラッグして離すと、割り当てを完了します。

アレイビューウィンドウには、許可された送信機から出力されたすべてのビデオが表示します。ここには、送信機のID、デバイス名、IPアドレスとともに、全ビデオソースの概要が表示します。



メディアリスト

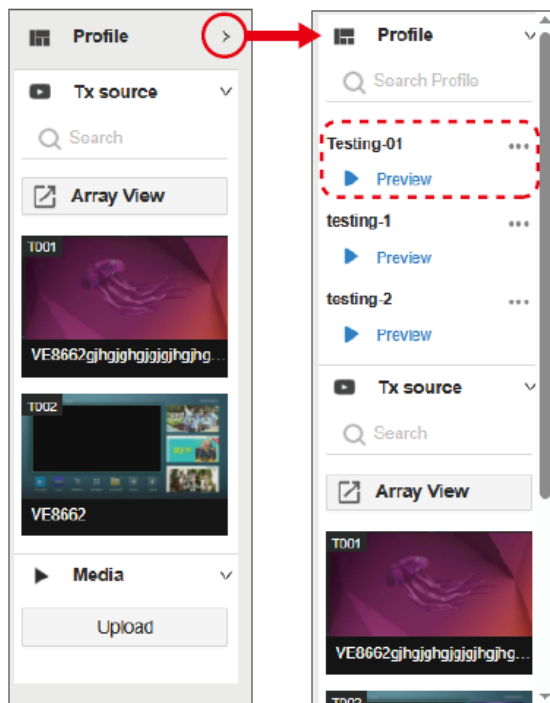
メディアリストでは、最大3つの画像を.jpgまたは.png形式でアップロードできます。各画像の最大サイズは5MBです。また、解像度1024×1024から4096×2160に収まるサイズの画像をご用意ください。



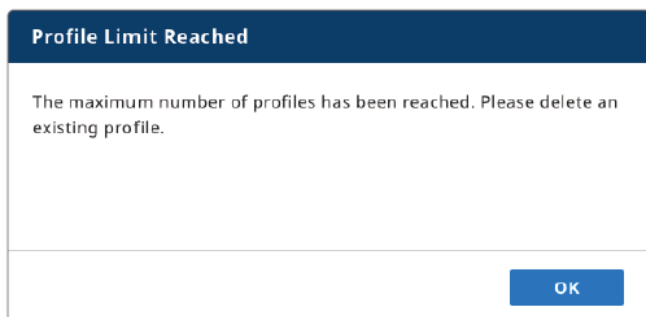
番号	項目	説明
1	アップロード	PCから画像を選択してアップロードします。 注意: アップロードされた画像はすべてのルームで共有します。
2	削除	画像を削除します。

ターゲットとなる受信機のプレビュー領域に、画像をドラッグ&ドロップして割り当ててください。

3. 「保存」をクリックして設定を完了します。
4. 作成したプロフィールがプロフィールリストに表示します。



各ルームは、最大10個までプロフィールが作成できます。11個目を保存しようとする警告ポップアップが表示します。作成したプロフィールを保存したい場合は、少なくとも1つの既存プロフィールを削除してください。



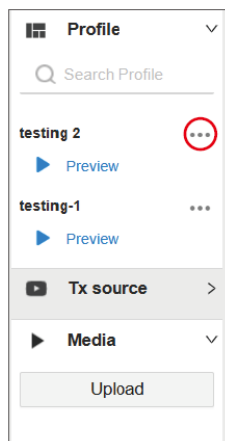
注意:

- ◆ 受信機またはビデオウォール設定がない、または削除されると、プロフィールは無効になります。
 - ◆ 受信機/ビデオウォールが、送信機またはHDMIローカル入力からのビデオソースを持っていないと、新規プロフィールの作成に失敗します。
-

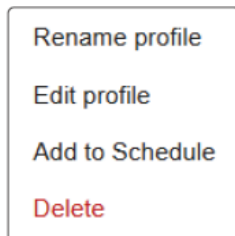
プロフィールの編集・削除

既存のプロフィールを編集または削除するには、以下の手順を行います。

1. プロファイルリストから「詳細」ボタンをクリックして、オプションメニューを開きます。



2. 続行する機能を選択します。

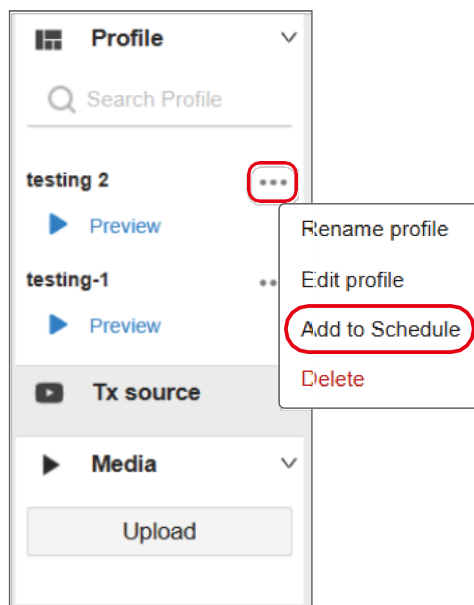


項目	説明
プロフィール名の変更	プロフィール名を編集します。
プロフィールの編集	プロフィールの設定画面を開いて変更を行います。
スケジュールに追加	プロフィールの再生スケジュールを設定します。詳細は、p.78「プロフィールスケジュールの設定」を参照してください。
削除	プロフィールを削除します。プロフィールを削除するか確認メッセージが表示されます。操作を続行する場合は「削除」を、また、操作をキャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

プロフィールスケジュールの設定

プロフィールスケジュールは、以下の手順に従って設定します。

1. プロファイルリストで目的のプロファイルを見つけたら、「詳細」ボタンをクリックしてオプションメニューを開きます。
2. 「スケジュールに追加」を選択して「スケジュールの追加」ポップアップを開きます。



3. 必要に応じてスケジュールを設定します。

Add Schedule

Profile

testing-001

Time

Start Time: 2025-03-31 15:10 ☒ All Day

End Time: 2025-03-31 15:20

Repeat: Never

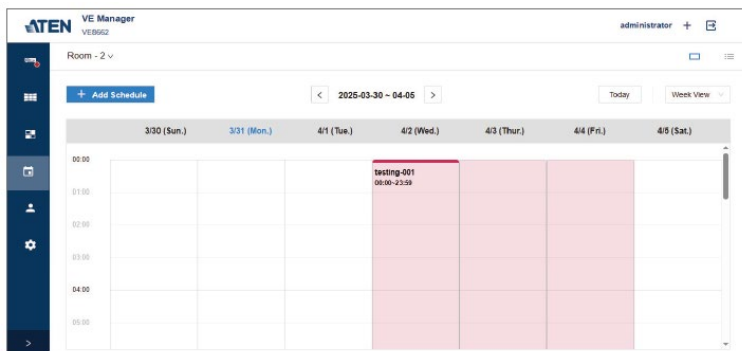
Status ☒ On

Cancel Save

- ◆ **プロフィール:**
スケジュールに追加するプロフィールを選択します。
- ◆ **カラーコード:**
タスクが区別できるよう、異なる色を使用してタスクに色ラベルを割り当てます。
- ◆ **開始時間/終了時間:**
タスクの開始時間と終了時間を設定します。
- ◆ **繰り返し:**
スケジュールを繰り返す周期を選択します。
- ◆ **状態:**
予定されたタスクを有効または無効にします。

注意: 詳細設定については、p.84「スケジュール」を参照してください。

4. 「保存」をクリックしてスケジュールを保存します。以下は、保存画面の例です。

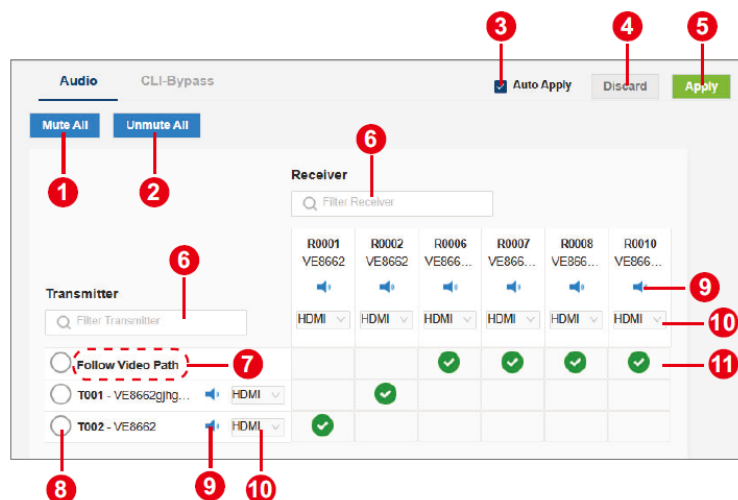


マトリックス

「マトリックス」ページでは、アドミニストレータが「オーディオ(独立したオーディオのマトリックス切り替え)」と「CLIパイパス(RS232のマトリックス切り替え)」の2つのタブページを使用してマトリックスルーティングを効率的に制御・設定できます。各タブのルーティングテーブルを使用して、AV-over-IPシステムの特定の受信機に対して、どの送信機からビデオまたはオーディオデータを送信するかを設定します。

オーディオ

「オーディオ」タブページは以下の機能を提供します。

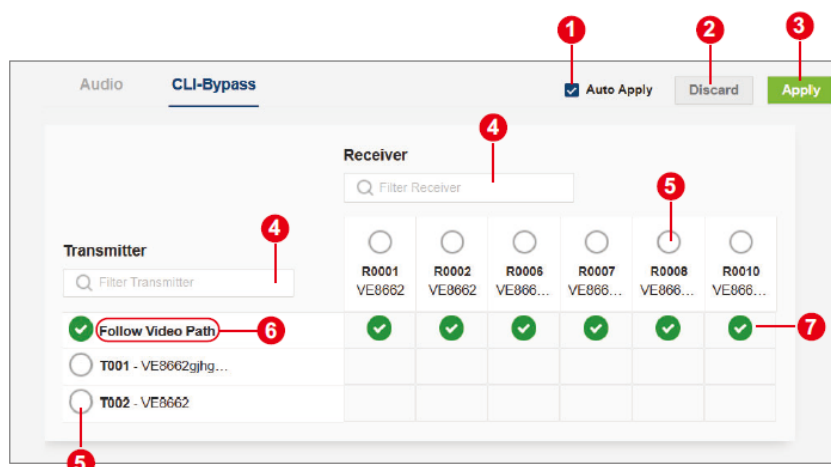


番号	項目	説明
1	すべてミュート	すべての送信機と受信機をミュートします。
2	すべてのミュート解除	ミュートしたすべてのVE8662のミュートを解除します。
3	自動適用	変更を自動的に適用します。
4	破棄	「適用」をクリックすると変更を保存します。また、「破棄」をクリックすると、設定をキャンセルします。
5	適用	

番号	項目	説明
6	送信機/受信機をフィルタリング	送信機/受信機を絞り込むためのキーワードを入力します。
7	ビデオパスに従う	オーディオをビデオ信号と同じルーティングに設定します。
8	すべて選択	すべての受信機を選択して、送信機からオーディオ信号を取得します。
9	ミュート/ミュート解除	ボタンをクリックすると、ミュートまたはミュート解除します。
10	オーディオソース	オーディオソースを、HDMIとステレオのどちらかに選択します。デフォルト設定はHDMIです。
11	クロスポイント	表で縦と横の交点(クロスポイント)をクリックすると、信号のルーティングパスが有効になります。無効にするには、選択済みの交点をもう一度クリックしてチェックマークを外します。

CLIバイパス

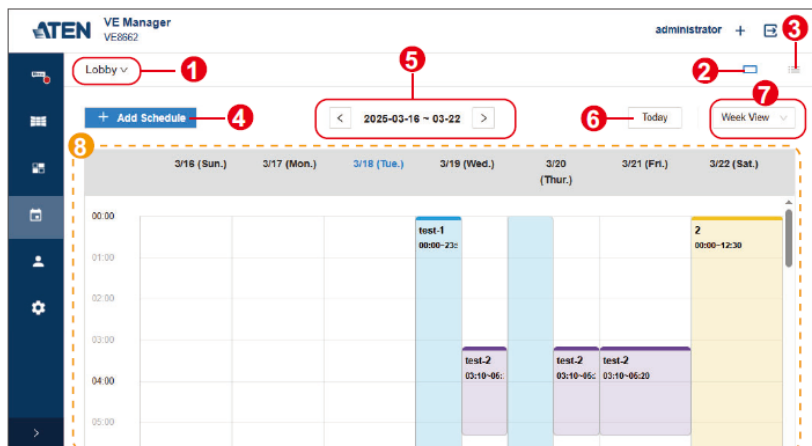
RS232通信を行う場合、アドミニストレーターは「CLIバイパス」タブを通じて、1台または複数の受信機に対して、特定の送信機の割り当てができます。



番号	項目	説明
1	自動適用	変更を自動的に適用します。
2	破棄	「適用」をクリックすると、変更を保存します。また、「破棄」をクリックすると、設定をキャンセルします。
3	適用	
4	送信機/受信機をフィルタリング	送信機/受信機をフィルタリングするためのキーワードを入力します。
5	すべて選択	すべての送信機/受信機を選択します。
6	ビデオパスに従う	ビデオ信号と同じ方法でCLIコマンドのルーティングを行います。
7	クロスポイント	表で縦と横の交点(クロスポイント)をクリックすると、ルーティングパスが有効になります。無効にするには、選択済みの交点をもう一度クリックしてチェックマークを外します。 複数のレシーバーに対してシリアルコマンドを送信する場合は、デバイスからの応答メッセージのデータフローコントロール機能はなく、バースト転送が行われます。そのため、応答メッセージによっては文字化けが発生するおそれがあります。デバイスからの応答メッセージを必要とする制御通信システムの場合はクロスポイントを1vs1で接続して特定のデバイスだけとのデータ送受信ができるようにしてからご利用ください。

スケジュール

「スケジュール」ページでは、特定の日時に自動実行されるタスクを設定します。



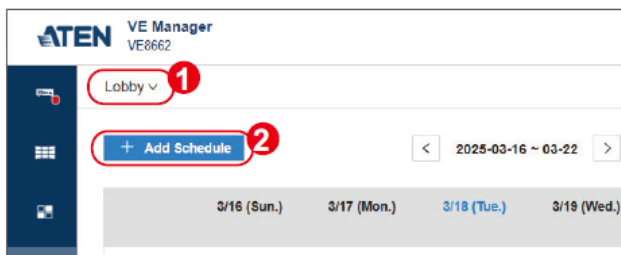
番号	項目	説明
1	ルームの選択	クリックすると、ドロップダウンメニューを展開して、すべてのルームオプションを一覧表示します。管理対象となるルームを選択すると、そのルームのスケジュールに切り替えます。
2	予定表ビュー	タスクの実行タイミングと実行間隔をビジュアル表示します。
3	リスト表示	予定されたタスクを一覧表示します。
4	スケジュールを追加	クリックすると、ルームで実行する新規スケジュールタスクを作成します。
5	日付選択ツール	次のボタン()または前のボタン()を使用して日付/日付範囲を選択します。 1日単位表示の場合: 日付を選択すると、その日に実行されるタスクを表示します。 - 週単位表示の場合: 週ごとに日付の範囲を選択すると、その週内に実行されるタスクを表示します。

番号	項目	説明
6	今日に戻るボタン	「今日」ボタンをクリックすると、今日または現在の週に戻ります。
7	スケジュール表示 選択	タスクカレンダー/タスクリストを、選択した形式(週単位または日単位)で表示します。
8	タスクカレンダー/ タスクリスト	選択した週に、ルームで実行予定のタスクを表示します。

タスクスケジュールの作成

タスクスケジュールを作成するには、以下の手順で操作を行います。

1. 「スケジュール」ページのルーム選択メニューからルームスケジュールを開きます。
2. 「+ スケジュールを追加」ボタンをクリックして、「スケジュールの追加」ウィンドウを開きます。



3. 以下の設定を行います。

項目	説明																																	
プロフィールの選択	タスクが再生するプロフィールを選択します。プロフィールの管理方法については、p.75「プロフィールの管理」を参照してください。																																	
カラーコード	タスクに色ラベルを割り当てます。色分けして、タスクの識別に役立ちます。																																	
開始時間/終了時間	タスクの開始日時および終了日時を設定します。																																	
終日	「終日」チェックボックスをオンにすると、タスクを終日再生します。																																	
繰り返し	スケジュールされた時間に、タスクを繰り返し実行します。繰り返しタスクを実行するオプションは以下のとおりです。 - なし: タスクを1回だけ実行します。 - 毎日: タスクを毎日繰り返して実行します。 - 毎週: タスクを毎週繰り返して実行します。オプションを選択すると、タスクを実行する曜日をさらに指定する必要があります。 Repeat Weekly Mon Tue Wed Thur Fri Sat Sun - 毎月: タスクを毎月繰り返して実行します。タスクを繰り返して実行する特定の日付を設定します。 Repeat Monthly <table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr><tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr><tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11																								
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22																								
23	24	25	26	27	28	29	30	31																										

項目	説明
繰り返し終了	タスクの期日を設定します。設定は、「繰り返し」が毎日、毎週、毎月設定されている場合にのみ利用可能です。 - なし: オプションを有効にすると、無期限に繰り返し続けます。 - 無効な日付: タスクの実行を終了する日付を設定します。
状態	スイッチをクリックして、タスクをオンまたはオフにします。

4. 「保存」をクリックしてタスクの作成を完了します。作成したタスクがタスクリストに表示します。

タスクスケジュールの管理

既存のタスクを編集するには、編集対象のタスクをタスクリストから見つけて、ダブルクリックします。「スケジュールの編集」ポップアップが開きます。

Edit Schedule

Profile

Profile 1

▼

●

▼

Time

Start Time

2021-02-01

📅

12:00

🕒

☐ All Day

End Time

2021-02-01

📅

16:00

🕒

Repeat

Daily

▼

End Repeat

☐ Never

☒ Until Date:

2021-01-31

📅

Status

●

On

Delete Room

Cancel

Save

「スケジュールの編集」ポップアップでは、以下の操作が可能です。

- ◆ タスクの変更・保存が行えます。
- ◆ 「削除」ボタンをクリックして、対象となるタスクをリストから削除します。
- ◆ 「状態」スイッチをオンにして、タスクをアクティブにします。オフにすると、タスクを非アクティブにします。

ユーザー

「ユーザー」ページでは、アドミニストレーターのロールのアカウントが以下の操作ができます。

- ◆ ユーザーの確認・追加・編集・削除
- ◆ VEマネジャーへのアクセス用アカウントのパスワード変更
- ◆ ユーザーアカウントに対するユーザーロールの割り当て

ユーザーロールの種類

VEマネジャーは、権限レベルが異なる3種類のユーザーロールを提供します。アドミニストレーターとして指定されたユーザーロールのみが、「ユーザー」ページにアクセスして他の2つのロール(スーパーユーザーと一般ユーザー)を作成できます。

アカウント認証レベルを区別するには、以下の表を参照してください。

表1: アクセス権限

ユーザーロール	アクセス権限					
	デバイス	ルーム	マトリックス	スケジュール	ユーザー	メンテナンス
一般ユーザー	アクセス権限なし					
スーパーユーザー		✓		✓		
アドミニストレーター	✓	✓	✓	✓	✓	✓

表2: リソースアクセスレベル

ユーザーロール	リソースアクセス		
	送信機	ルーム	プロフィール
一般ユーザー	限定的アクセス	限定的アクセス	限定的アクセス
スーパーユーザー	限定的アクセス	限定的アクセス	限定的アクセス
アドミニストレーター	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス

注意:

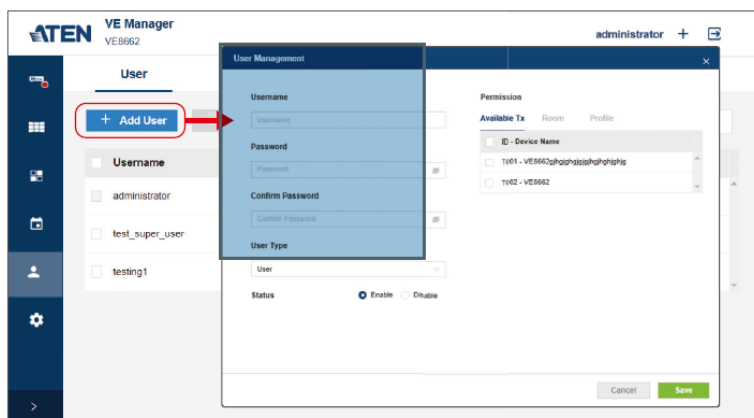
一般ユーザーに権限設定されているアカウントは、ブラウザを利用したリモートアクセス画面へのアクセスができないようになっています。

ユーザーアカウントの管理

「ユーザー」ページはアドミニストレーターのアカウントのみがアクセス可能です。ユーザーアカウントを作成・編集・削除するには、アドミニストレーターのアカウントでVEマネジャーにログインする必要があります。

新規ユーザーアカウントの作成

新規ユーザーアカウントを作成するには、次の手順に従ってください。



1. 「ユーザー」ページで「ユーザーの追加」ボタンをクリックして、「ユーザー管理」ポップアップを開きます。
2. ユーザーネームとパスワードを設定し、ユーザータイプを指定します。
3. アカウントの状態を選択します。
 - ◆ **有効**: アカウントをアクティブにします。
 - ◆ **無効**: アカウントを非アクティブにします。
4. アカウントの権限を設定します。
 - ◆ **利用可能なTX**: アカウントがアクセスできる送信機を選択します。
 - ◆ **ルーム**: アカウントがアクセスできるルームを選択します。
 - ◆ **プロフィール**: アカウントが適用できる、アクセス可能なルームの関連プロフィールを選択します。

注意:

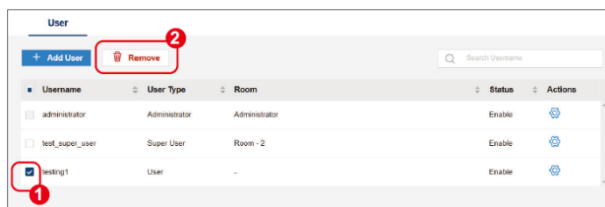
アドミニストレーターはすべての送信機、ルーム、およびプロフィールにアクセスできますが、スーパーユーザーと一般ユーザーは割り当てられた送信機、ルーム、プロフィールにしかアクセスできません。アカウント作成後はアクセス許可を必ず行ってください。

5. 「保存」をクリックすると、新しいアカウントを作成します。また、「キャンセル」をクリックすると、作成を中止してポップアップを閉じます。

既存のユーザーアカウントの編集・削除

■ 削除

既存のアカウントを削除するには、次の手順に従って操作します。。



1. ユーザーアカウントリストから削除対象となるアカウントを選択します。
2. 「削除」ボタンをクリックして、選択したアカウントを削除します。

注意:

- ◆ 「削除」ボタンをクリックすると、確認なしでアカウントが即座に削除します。
 - ◆ デフォルトのアドミニストレーターのアカウントは削除できません。
-

■ 編集

既存のアカウントを編集するには、次の手順に従って操作します。。

1. ユーザーアカウントリストから、アカウントをダブルクリックするか、アクションボタン(⚙️)をクリックして、アカウントの「ユーザー管理」ポップアップを開きます。
2. 必要な変更を行って保存します。

ユーザーアカウントリスト

ユーザーアカウントリストには、すべてのユーザーアカウントが一覧表示します。
ここには次の情報が表示します。

User					
+ Add User		@ Remove		Search Username	
☐ Username	User Type	Room	Status	Actions	
☐ administrator	Administrator	Administrator	Enable		
☐ test_admin	Administrator	Administrator	Enable		
☐ test_super_user	Super User	Room - 2	Enable		
☐ test_user	User	Room - 2	Enable		

項目	説明
ユーザーネーム	アカウントの名前です。
ユーザータイプ	ユーザーロールのタイプです。
ルーム	アカウントがアクセスを許可されたルームです。
状態	アカウントがアクティブか非アクティブかを表します。
アクション	「ユーザー管理」ポップアップを開くための設定ボタン()です。

メンテナンス

「メンテナンス」ページでは、本体のシステム時刻の設定、VE8662本体設定、本体のファームウェアアップグレード、設定のバックアップができます。

全般設定

「全般」タブでは、日時、パネルロック、およびCLIの各設定が行えます。

The screenshot shows the 'Maintenance' page in the ATEN VE Manager interface. The page has a dark blue sidebar on the left with icons for various functions. The main content area is titled 'Maintenance' and has three tabs: 'General', 'Firmware Upgrade', and 'Back Up & Restore'. The 'General' tab is selected. Under 'Date / Time', there are radio buttons for 'Manual' (selected) and 'NTP Server'. Below this, there are input fields for 'Date & Time' showing '2025-03-12' and '14:05:16', and a 'Sync with Computer Time' button. Under 'Preference', there are radio buttons for 'Disconnection View' (selected) and 'Black Screen'. Below this, there are radio buttons for 'Panel Lock' (selected) and 'Never'. Under 'Auto Lock After', there is a dropdown menu showing '5 min.'. Under 'CLI', there are radio buttons for 'Login' (selected) and 'Off'. Below this, there is a dropdown menu for 'Timeout' showing '5 min.'. At the top right of the page, there is a 'Discard' button and a 'Apply' button.

「適用」ボタンをクリックすると、変更を保存します。

日時設定

設定	説明
モード	2つのモードから選択します。 • 手動: 選択すると、下にある日付と時刻の機能が利用可能になります。日付選択ツールと時間選択ツールから日付と時刻を選択してください。 • NTPサーバー: 同じネットワークセグメントにNTPサーバーがある場合、サーバーから時刻データを取得し時刻を設定します。
日時	日付選択ツールと時刻選択ツールで日付と時刻を設定します。 注意:この機能は手動モードが有効な場合にのみ利用可能です。
コンピューターの時刻と同期	リモートアクセスしているPCの時刻を同期したい場合は、ボタンをクリックして設定を行います。

設定

設定	説明
切断ビュー	送信に接続した映像入力信号が止まった時に表示される画面を設定します。
パネルロック	すべてのVE8662の本体液晶操作画面をロックするには、「自動ロック」を選択します。
自動ロックまでの時間	液晶操作画面のタイムアウト期間を指定します。

CLI

設定	説明
ログイン	オンを選択すると、コンピューターからRS-232 / Telnetインターフェース経由でVE8662にリモートログインし、コマンド操作で切り替えができるようになります。
タイムアウト	CLIセッションを終了するまでのアイドル時間を指定します。

ファームウェアアップグレード

VE8662のファームウェアをアップグレードするには、以下の手順に従って操作を行ってください。

Maintenance

General **Firmware Update** Backup/Restore

VEXX_v1.203.4.exe

☐	ID	Device Name	IP Address	Firmware	Status
☒	T001	Mac mini	192.108.0.101	V1.102.2.2021012	Updating... 0%
☒	T002	PC 1	192.108.0.102	V1.102.2.2021012	Updating... 0%
☐	T003	PC 2	192.108.0.103	V1.102.2.2021012	
☐	R0001	TV 1	192.108.0.104	V1.102.2.2021012	
☐	R0002	TV 2	192.108.0.105	V1.102.2.2021012	
☐	R0003	TV 3	192.108.0.106	V1.102.2.2021012	

1. ファームウェアのアップグレード対象となる本体を選択します。
2. 「参照」ボタンをクリックして、PC内のファームウェアファイルを指定します。
3. 「更新」をクリックしてアップグレードプロセスを開始します。

バックアップと復元

The screenshot shows a web interface titled "Maintenance" with three tabs: "General", "Firmware Upgrade", and "Back Up & Restore". The "Back Up & Restore" tab is selected and underlined. Below the tabs, there are two main sections: "Backup" and "Restore". In the "Backup" section, there is a blue button labeled "Backup". In the "Restore" section, there is a text input field with the placeholder text "Select backup file", a "Browse" button to its right, and a "Restore" button below the input field.

バックアップは本体設定のコピーを保存する機能です。また、復元は以前に保存されたバックアップファイルを読み込んで本体設定を回復する機能です。

- バックアップファイルから設定を復元するには、本体の数、Tx/Rxモード、およびMACアドレスがバックアップ内のものと一致している必要があります。
- ネットワーク設定(IPアドレスとサブネットマスク)は復元されません。
- 復元プロセスが完了すると、すべてのVE8662が再起動します。

第5章 ワークステーションのメニュー画面操作

概要

ワークステーションとは、レシーバーにUSBキーボードとマウスを接続して、KVMスイッチのように操作するモードです。複数の送信機を使用している環境だとメニュー画面を呼び出し、送信機を切り替えて操作ができます。ユーザーは、自分のアカウントの権限に応じて、許可された送信機やプロフィールを使えます。

注意:

一般ユーザーのアカウントは、ワークステーションモードにてログインして、予め許可されたPCのみ閲覧・操作できます。管理権限が必要となるブラウザ経由のリモートアクセスは出来ません。

前提条件

ワークステーションでメニュー画面を呼び出せるようにするには、次の手順で事前に準備しておいてください。

1. ターゲットとなる受信機に、キーボード、マウス、およびモニターを接続します。
VE8662の接続については、p.11を参照してください。
2. **VEマネジャー**に管理者アカウントでログインし、対応するルームに移動して、ターゲットとなる受信機を選択してワークステーションとして設定します。
3. VEマネジャーの「**デバイス**」ページで、ターゲットとなる受信機の編集ポップアップを開き、USB機能を有効にします。

R001

✕

Device ID / Name

R

001

Device Name

IP Address

IPInstaller

Enable

▼

IP Type

DHCP

▼

Video Settings

Resolution

Auto

▼

Control I/O Port

USB

Enable

▼

RS232

Bypass

▼

Telnet

Bypass

▼

SSH

Bypass

▼

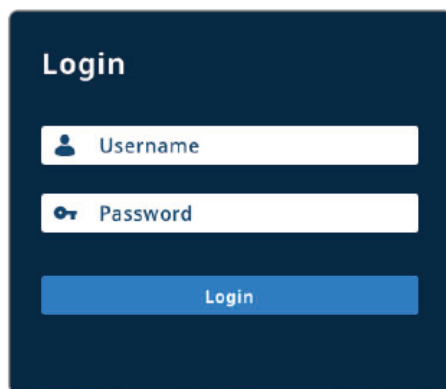
Default

Cancel

Save

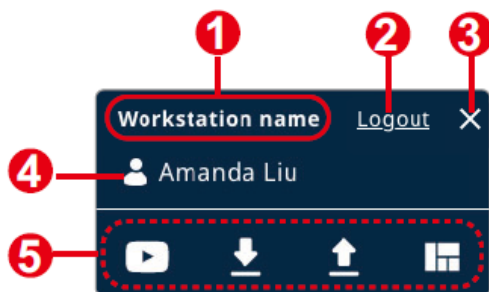
ログイン

ワークステーションにログインするには、ユーザーネームとパスワードを入力し、ログイン画面で「ログイン」をクリックします。もしもメニュー画面が表示されない場合は、[Ctrl]キーを2回押して呼び出してください。ユーザーアカウントを作成していない場合、ユーザー名とパスワードは初期設定で「administrator」と「password」となります。

A dark blue login screen with the title "Login" at the top. Below the title are two white input fields: the first is labeled "Username" with a person icon, and the second is labeled "Password" with a key icon. At the bottom is a blue button labeled "Login".

メニュー画面コントロールの操作パネル

ワークステーションメニュー画面操作インターフェースに正常にログインすると、以下の図に示すように操作パネルを表示します。

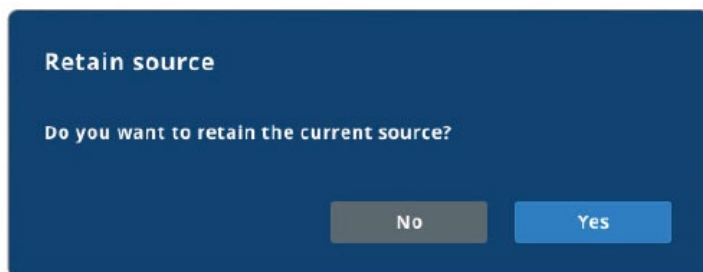


番号	項目	説明
1	ワークステーション名	現在ログインしているワークステーションの名前を表示します。

番号	項目	説明
2	ログアウト	アカウントをログアウトします。ログアウトするとセッションが終了し、ワークステーションはすべてのプッシュされたソースを取得し、現在のワークステーションレイアウトを維持します。
3	終了	メニュー画面の表示をキャンセルし終了します。
4	アカウント	現在ログインしているユーザーアカウントを表示します。
5	ツールバー	ツールバーには、次の機能を提供する4つのボタンがあります。  ソース:送信機選択画面に移ります。  プル:「プル」選択画面に移ります。  プッシュ:「プッシュ」選択画面に移ります。  プロフィール:プロフィール管理画面に進みます。

ログイン後、デフォルトのホットキー（[Ctrl] + [Ctrl]）を使用してメニュー画面コントロール画面を非表示または表示します。メニュー画面を表示している間は、メニュー画面を呼び出す前に接続している送信機とそのまま、接続状態を保持します。

ログイン前にワークステーションモードで操作中の場合、選択中の送信機と接続し続けるかどうかを尋ねるメッセージが表示します。



「はい」をクリックすると、現在のソースを使用し続けます。「いいえ」をクリックすると送信機との通信を切断します。

ワークステーションの受信機バー

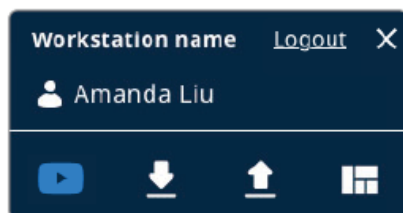
ワークステーションの受信機バーには、ワークステーションに割り当てられていて操作権限がある受信機(Rx)がすべて表示します。各受信機は順番にリスト表示され、対応する受信機タイルがメニュー画面コントロール画面の下部に表示します。

この機能は複数台のレシーバーがある環境でも一つのワークステーションから、他のVE8662のレシーバーの画面表示を切り替えることができます。

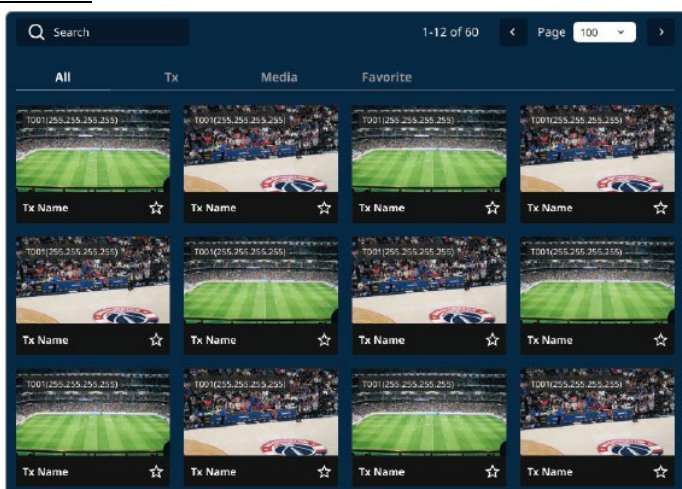


ソース

「ソース」ボタンをクリックすると、送信機のリストをメニュー画面の下部にタイル形式で表示します。



ソースパネル



アクセス許可された送信機は、送信機IDに基づいて一覧表示します。ソースパネルには次が含まれます。

項目	説明
すべて	送信機ビデオソースやメディアリストからの画像を含む、許可されたソースをすべて一覧表示します。
Tx	許可された送信機ビデオソースをすべて一覧表示します。

項目	説明
メディア	すべてのメディアソースを一覧表示します。 注意: メディアソースはすべてのユーザーがアクセス可能です。
お気に入り	星のアイコンをクリックすると、ソースを お気に入り に追加します。「 お気に入り 」タブには追加済みのソースだけが表示します。
検索バー	入力された送信機名またはデバイスIDに基づいて結果をフィルタリングします。

ソースの切り替え

ワークステーションの受信機に表示されるソースを切り替えるには、次の手順に従って操作します。

1. 受信機 (Rx) を選択します。

ワークステーションの受信機バーで、切り替えたいレシーバーをクリックします。

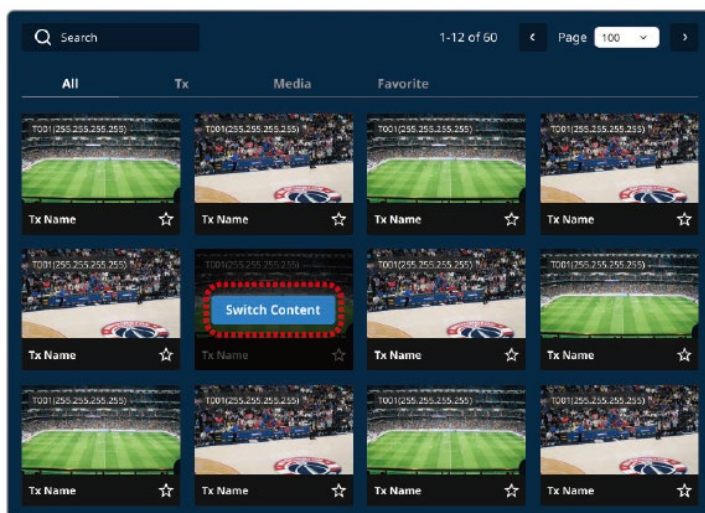


2. ソースを選択します。

ソースパネルから切り替えたい送信機を選択します。

3. 「コンテンツの切り替え」ボタンをクリックします。

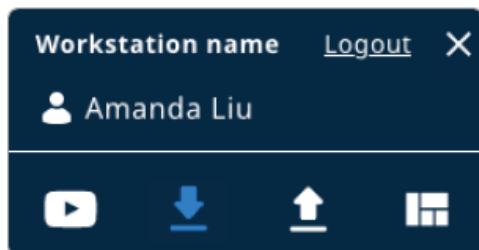
受信機を選択したら、ボタンをクリックしてソースを変更します。



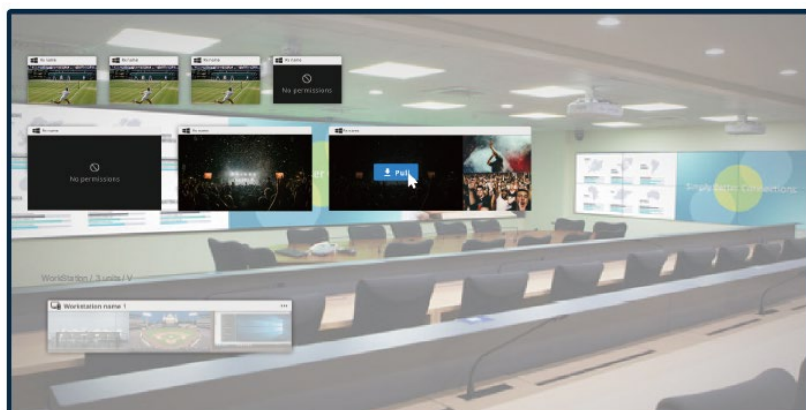
受信機は、ソースを切り替えると新しいソースを表示します。

プル(ソースの取得)

プルは、他の受信機やワークステーションで閲覧している映像を今、操作しているレシーバーで同時に見る時に使用します。



メニュー画面で「Pull」ボタンをクリックすると、プル操作用のパネルが開きます。このパネルには、現在の部屋にある受信機(レシーバー)やワークステーションの一覧が表示されます。希望する映像ソースが見つかった場合は選択し、画面下部のレシーバー一覧に表示されている任意の受信機にプル(映像を転送)することができます。



注意:

- ◆ 権限を許可されていない機器は白い半透明表示になります。
 - ◆ ビデオソースは利用可能な送信機から取得してください。許可されていないソースは「許可なし」と表示します。
-

次の手順に従ってソースをプルします。。

1. Rxディスプレイを選択します。

メニュー画面コントロール画面の下部にある目的のRxディスプレイをクリックします。

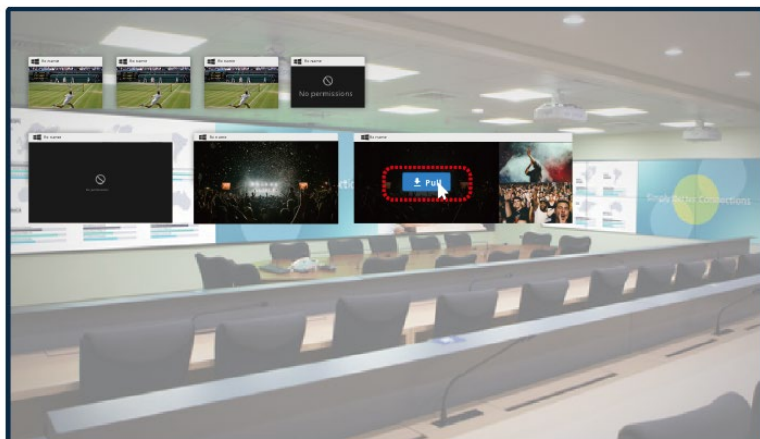


2. 目的のソースを選択します。

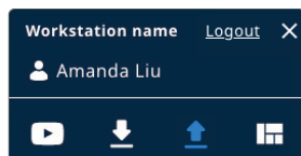
利用可能なオプションから取得したいソースを選択します。

3. 「プル」ボタンをクリックします。

「プル」ボタンをクリックして、選択したソースをメニュー画面コントロール画面に転送します。



プッシュ(ソースの送信)



「Push(プッシュ)」とは、現在操作しているレシーバーの映像を、他の受信機へ見せる操作です。この操作は、Pushコントロールパネルから実行します。プッシュ操作をすると相手の受信機には通知が表示されます。受信側のユーザーは、そのコンテンツの受け取って表示するまたは拒否することができます。

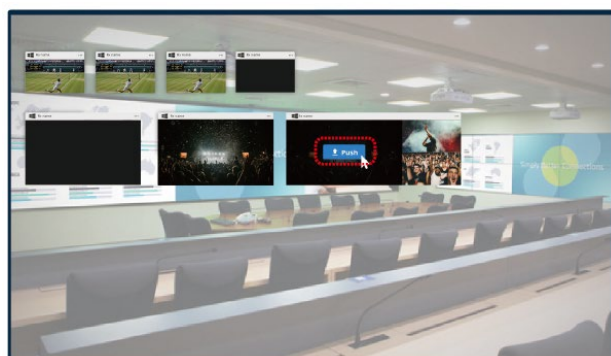
ソースのプッシュ手順

1. Rxディスプレイを選択します。

下部のRxバーから、送信したいソースを含む目的のRxディスプレイをクリックします(デフォルトは現在のRxです)。

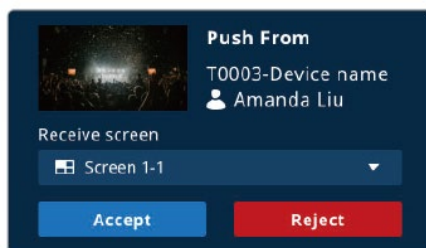


2. ソースをプッシュする受信機を選択します。
「プッシュ」パネルでソースを送信したい受信機ディスプレイを選択します。
3. 「プッシュ」ボタンをクリックします。
「プッシュ」ボタンをクリックして、選択したソースを指定されたRxに送信します。



プッシュ通知

Push操作でソースが特定の受信機に送信されると、その受信機がログイン状態であれば、対応するOSD画面に通知が表示されます。この通知により、ユーザーはその映像ソースを受け入れるか拒否するかを選択することができます。



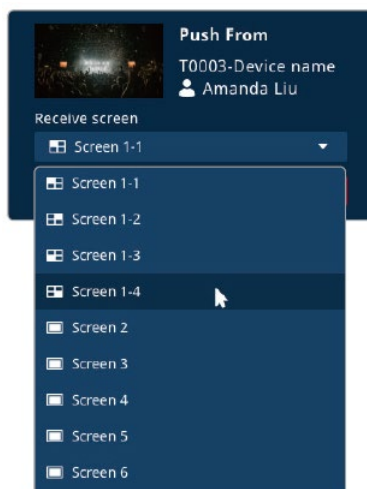
受信機に誰もログインしていない場合、ソースは自動的に切り替わります。

注意:

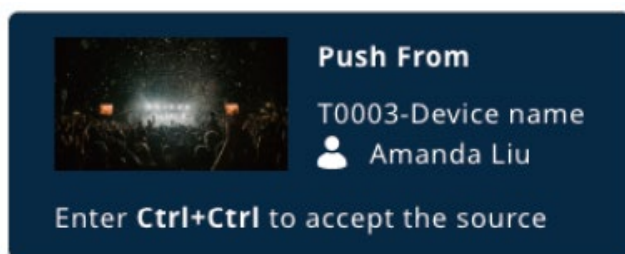
他のユーザーからプッシュされたソースを、プッシュ転送できません。

「**受け入れる**」をクリックすると、ソースを適用します。また、「**拒否する**」をクリックすると、通知を閉じます。通知を受け取ってから3分以内にアクションが行われない場合、自動的に拒否されて画面が終了します。

受け入れる画面を4画面レイアウトで好きな場所に指定したい場合は、受け入れるボタンを押す前にドロップダウンメニューから選択します。

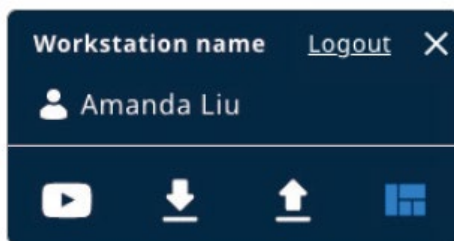


メニュー画面が非表示の間にプッシュ通知を受け取った場合、ホットキー([Ctrl] + [Ctrl])を使用してメニュー画面を開き、プッシュされたソースを受け入れるかどうかを決定します。

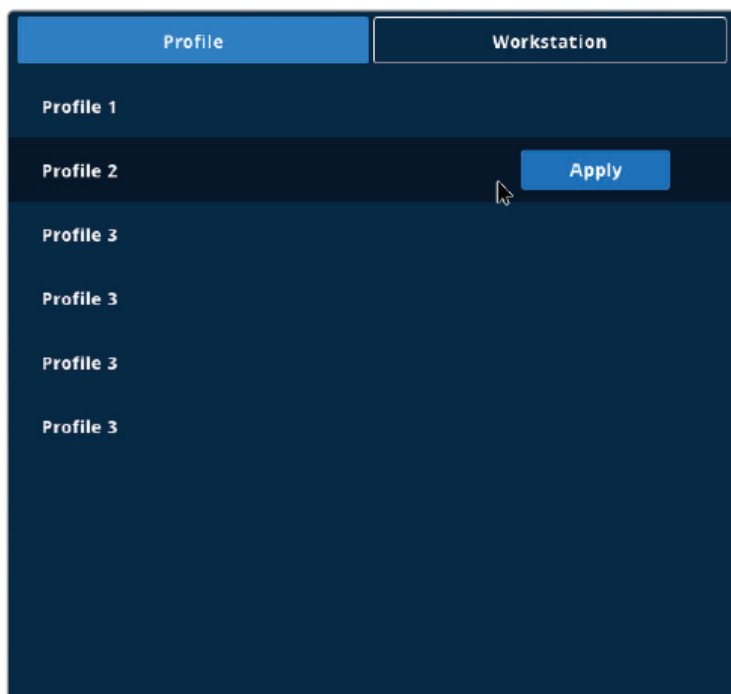


複数のプッシュソースを受信すると、通知パネルに一覧表示します(最大15件表示)。この制限を超えると、新しい通知が受けられるよう、最も古い通知が削除します。

プロフィール

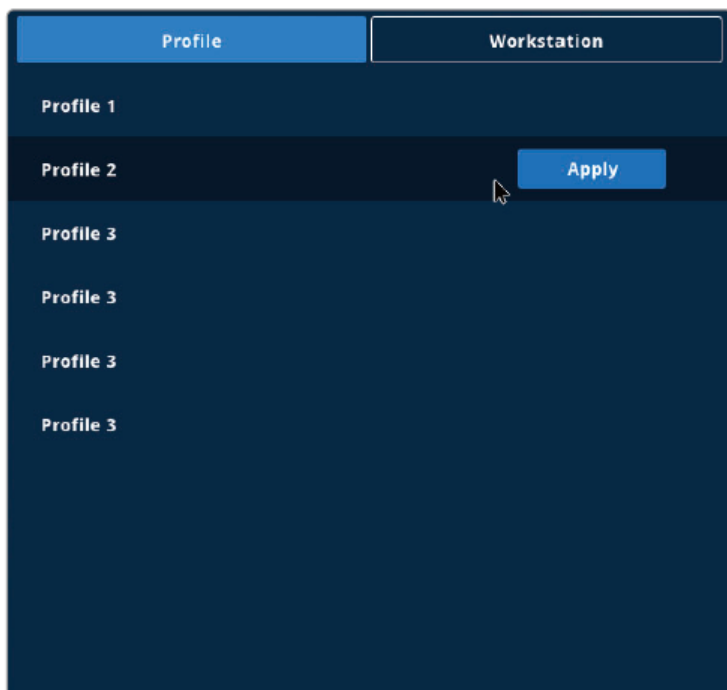


現在操作しているアカウントの権限にプロフィール利用許可をしている場合、メニュー画面から利用できます。「Profile」ボタンをクリックすると、プロフィール操作のコントロールパネルが開きます。このパネルには「プロフィール」と「ワークステーション」の2つのタブがあり、それぞれの利用できるプロフィールを確認し適用できます。



プロフィールタブ

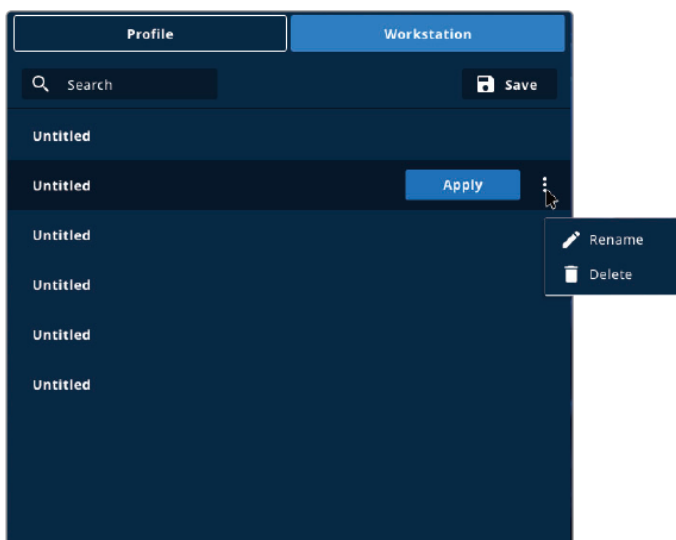
「プロフィール」タブには、ユーザーのアクセス権限を付与されたプロフィールのみが表示します。「適用」をクリックすると、選択したプロフィールを有効にします。



- ◆ タブに一覧表示されているプロフィールは、VEマネジャー（ウェブブラウザインターフェース）経由で設定します。プロフィールは、ユーザーアカウントの作成・更新で、アクセス許可の設定をしてください。
- ◆ 「プロフィール」タブのプロフィールは、VEマネジャー経由でのみ変更・削除できます。ワークステーションでは、適用だけができます。

ワークステーションタブ

「ワークステーション」タブでは、メニュー画面からプロフィールを作成・管理できます。各プロフィールはワークステーションとユーザーの両方にリンクされています。



- ◆ 「ワークステーション」タブに一覧表示されているプロフィールは、ワークステーション上で直接作成します。右上隅の「保存」をクリックすると、新規プロフィールを作成します。
- ◆ 「ワークステーション」タブのプロフィールは、VEマネージャー経由で変更・削除できません。ワークステーション上でのみ適用・名称変更・削除が可能です。
- ◆ プロフィールを作成すると、その時点でログイン中のワークステーションにおける送信機と受信機のペア情報が記録されます。作成後は、プロフィール名のみ変更可能です。記録されたソースの組み合わせ（送受信の構成）は固定され、編集することはできません。
- ◆ ワークステーションプロフィールは、作成したユーザーアカウントとレシーバーのセットで記録されます。そのため、プロフィールを正しく適用するには、同じユーザーアカウントで、同じワークステーションにログインする必要があります。

安全にお使いいただくために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品パッケージに同梱のすべてのドキュメントに目を通してください。また、ドキュメント類は後で見返せるように、すべて保存してください。また、弊社ウェブサイトのオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品本体は、落下による事故・製品の破損を防ぐため、不安定な面（カート、スタンド、テーブルなど）に置かないでください。本体が落下すると、深刻な損傷が生じます。
- ◆ 本体を水の近くで使用しないでください。
- ◆ 本体を冷却装置や加熱機器の近く、またはその上に置かないでください。
- ◆ 廃熱機構のない本体を、組み込みエンクロージャーに置かないでください。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 清掃の前に、本体のプラグを壁のコンセントから抜いてください。液体またはエアゾールクリーナーを使用しないでください。清掃には、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- ◆ 本体は、マーキングラベルに示されたタイプの電源で動作させる必要があります。利用可能な電源の種類が不明な場合は、販売店または地元の電力会社に相談してください。
- ◆ 本体への損傷を防ぐために、すべての本体を適切に接地することが重要です。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に何も置かないでください。電源コードとケーブルを踏んだり、つまずいたりしないように配線してください。
- ◆ 映像・ネットワーク・電源用のケーブルは、丁寧に取り扱いってください。ケーブルの上には何も置かないでください。
- ◆ 本体の端子に物を押し込まないでください。危険な電圧ポイントに触れたり、部品がショートしたりして、火災や感電の危険性があります。

- ◆ 本体を自分で修理しようとししないでください。すべての修理は、資格のあるサービス担当者に依頼してください。
- ◆ 次の条件が発生した場合、本体のプラグを壁のコンセントから抜き、資格のあるサービス担当者に修理を依頼してください。
 - 電源コードまたはプラグが損傷または擦り切れている。
 - 本体に液体がこぼれた。
 - 本体が雨や水にさらされた。
 - 本体が落下した、またはキャビネットが損傷している。
 - 本体の性能に明らかな変化が見られる（誤った設定に変更していないのに特定の個体だけ挙動が異なる）。
 - 手順に従って操作したが、本体が正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。他のコントロールの不適切な調整は、修理する資格のある技術者による広範な作業を必要とする損傷をもたらす可能性があります。
- ◆ 製品の調整は、必ず、本書に記載されている設定および手順で行ってください。手順に沿わない調整によって、本体が正常に動作しなくなり、修理資格のある技術者による広範な作業を必要とするおそれがあります。

ラックへのマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックと床に固定され、ラックの重心が安定しているか確認してください。
- ◆ ラックへの機器搭載は常になら上に向かって行ってください。また、最も重いアイテムを下から搭載してください。
- ◆ 本体をラックから引き出す前に、ラックが水平で安定しているか確認してください。
- ◆ ラックに供給する電源が過負荷にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は最大でも80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされた本体は、電源タップも含め、すべて正しく接地されているか確認してください。
- ◆ ラックの廃熱やラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されている本体が動作している際に、本体を踏んだり本体により登ったりしないでください。

技術サポート

インターナショナル

- ◆ オンラインでの技術サポート(トラブルシューティング、マニュアル、およびソフトウェアアップデートを含む)の場合 : <http://support.aten.com>
- ◆ 電話によるサポートについては、p.iiを参照してください。

北米

Eメールサポート		support@aten-usa.com
オンライン 技術サポート	ドキュメント ソフトウェア更新 トラブルシューティング	http://www.aten-usa.com/support
電話によるサポート		1-888-999-ATEN ext 4988

お問い合わせいただく際には、あらかじめ以下の情報をご用意ください。

- ◆ 製品型番、シリアル番号、購入日
- ◆ オペレーティング・システム、リビジョン・レベル、拡張カード、およびソフトウェアを含むコンピューター構成
- ◆ エラー発生時に表示されるエラーメッセージ
- ◆ エラーに至るまでの操作の順序
- ◆ 他にも役立つと思われる情報

仕様

機能	VE8662
ビデオ入力	
最大距離	5m
インピーダンス	100 Ω
インターフェース	HDMI Type-A メス × 1 (Black)
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス × 1 (Black)
インピーダンス	100 Ω
最大距離	5m
ビデオ	
最大データ伝送速度(1画面)	1画面で約100Mbps (平均は約25～50Mbps)
規格準拠	HDMI (4K) HDCP 2.3 & HDCP 2.2準拠
最大解像度/延長距離	最大4K@100m (Cat 5e/6、ポイント・ツー・ポイント) 注意: 4K60p対応 3840 × 2160 @ 60Hz (4:4:4) のみ
ビデオ圧縮	H.265 コーデック 遅延: 3～5フレーム
オーディオ	
入力	HDMI Type-A メス × 1 (Black) ステレオミニジャック メス × 1 (Green)
出力	HDMI Type-A メス × 1 (Black) ステレオミニジャック メス × 1 (Green)
コネクター	
ユニット間接続	RJ-45 メス × 1 (PoE対応)
電源	ロック式DC電源ジャック × 1 またはRJ-45 × 1 (PoE対応)

機能		VE8662
RS-232	コネクタ	3極着脱式ターミナルブロック×1
	ボーレート	19200
	データビット	8
	ストップビット	1、パリティなし、フロー制御なし
USBチャンネル		USB Type-B メス×1(ホスト) USB Type-A メス×2(デバイス)
プッシュボタン		
操作モード選択		LCM操作用プッシュボタン×3
スイッチ		
選択モード		スライドスイッチ×1 T(送信機)/ R(受信機)のいずれかを選択
LED		
電源		DC入力LED×1 (Green) PoE LED×1 (Green)
消費電力		DC12V; 4.79W; 22BTU/h DC12V; 4.98W; 45BTU/h 注意: - ワット単位の測定値は、外部負荷がない場合におけるデバイスの標準的な消費電力を示します。 - BTU/h単位の測定値は、フル負荷時におけるデバイスの電力消費量を示します。
動作環境		
動作温度		0～40℃
保管温度		-20～60℃
湿度		0～80%RH、結露なきこと

機能	VE8662
ケース	
ケース材料	メタル
重量	0.51 kg
ブラケット付サイズ(W×D×H)	14.02 × 12.30 × 3.00 cm
ブラケットなしサイズ(W×D×H)	13.60 × 10.10 × 2.90 cm

ATEN保証ポリシー

保証方針は、製品カテゴリーおよび購入地域によって異なる場合があります。詳細については、ATEN の公式ウェブサイトアクセスし、購入した国や地域を選択してからサポートセンターに移動するか、お近くのATEN 営業所にお問い合わせください。

© Copyright 2025 ATEN® International Co., Ltd.

リリース: 2025-04-14

ATENおよびATENロゴは、ATEN International Co., Ltd.の登録商標です。無断転載を禁じます。その他すべてのブランド名および商標は、それぞれの所有者の登録商標です。